

明治卅八年度

男  
東京遊學案内  
女

酒井勉 著

東京修學堂發兌





男女東京遊學案内目次

遊學者の注意.....一

一 上京の準備.....一

二 宿所の選擇.....二

三 學費の負擔.....五

四 學費の請求.....六

五 新論.....八

第一章 法政.....九

一 東京帝國大學.....九

二 法政大學.....一一

三 學習院.....一一

四 早稻田大學.....一二

五 慶應義塾.....二八

六 東京法學院大學.....三一

七 明治大學.....三七

八 日本大學.....四四

九 法政大學.....五〇

十 專修學校.....五七

十一 東京政治學校.....五八

第二章 文學.....六〇

十二 文科大學.....六三

十三 高等師範學校文科.....六五

十四 早稻田大學文學科.....六五

十五 哲學館.....六五

十六 國語傳習所.....六九

十七 國學院.....七〇

第三章 商業.....七一

十八 高等商業學校.....七二

十九 早稻田大學商科大學.....七三

二十 東京商業學校.....七三

二十一 早稻田實業學校.....七四

二十二 東京主計學校.....七六

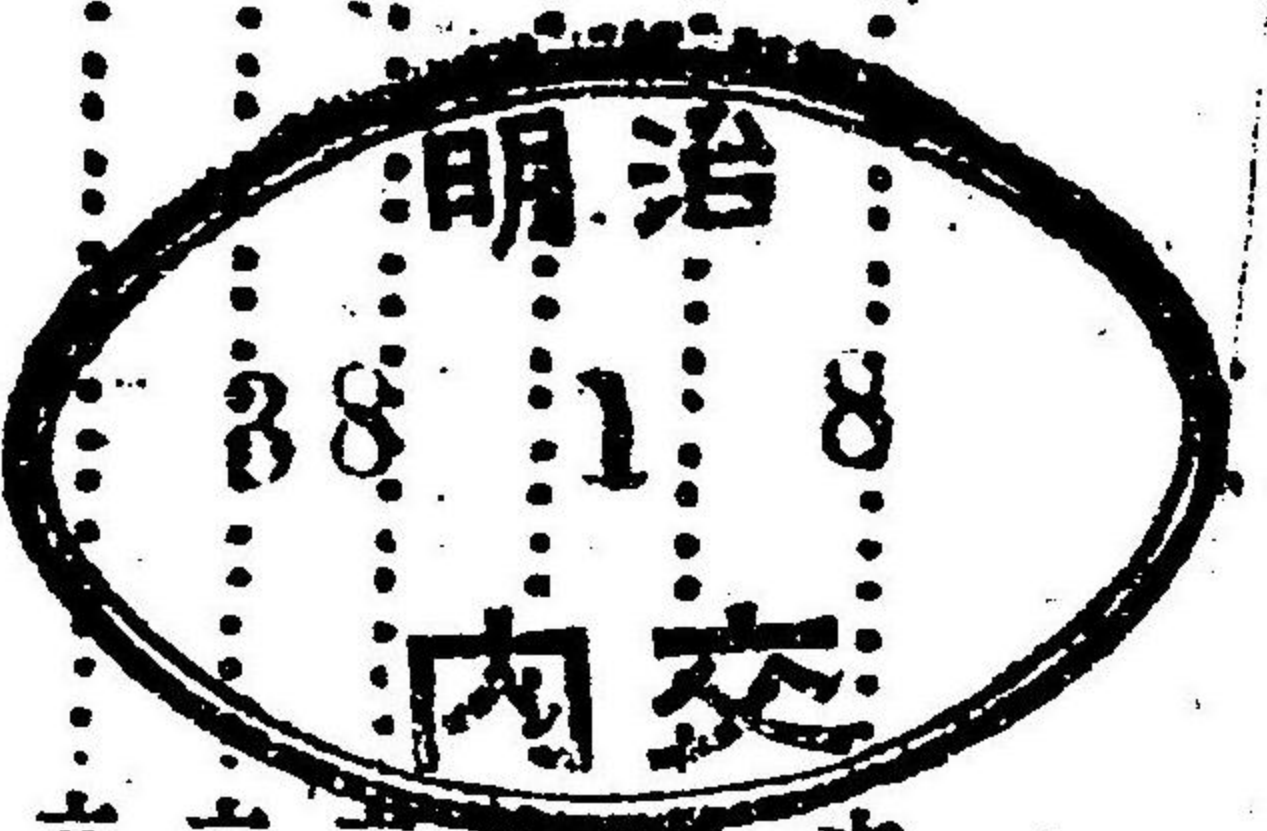
二十三 慶應義塾商業學校.....七八

二十四 簿記學專修館.....七八

二十五 簿記專門學校.....七九

二十六 東京簿記專修學館.....七九

二十七 東京簿記學校.....八〇





二十八	東京簿記專門教習所	八〇
二十九	銀行事務員養成所	八〇
三十	京華商業學校	八一
<b>第四章 工業</b>		
三十一	工科大學	八四
三十二	東京高等工業學校	八六
三十三	東京高等工業學校附設工業教員養成所	一〇六
三十四	東京高等工業學校附屬職工徒弟學校	一一〇
三十五	工業教員養成所附屬工業補習學校	一一一
三十六	工手學校	一一二
三十七	鐵道學校	一一三
<b>第五章 農業</b>		
三十八	農科大學	一二四
三十九	農科大學乙科	一二五
四十	農業教員養成所	一二六
四十一	蠶業講習所	一二七
四十二	東京高等農業學校	一二七
<b>第六章 理學</b>		
四十三	理科大學	一二八

四十四	東京物理學校	一三〇
四十五	順天求合社	一三一
四十六	東京數學院	一三五
<b>第七章 醫學</b>		
四十七	醫科大學	一三六
四十八	東京慈惠病院醫學校	一三七
四十九	東京藥學專門學校	一三八
五十	東京藥學校	一三九
五十一	東京齒科醫學院	一四〇
<b>第八章 美術</b>		
五十二	東京美術學校	一四二
五十三	東京音樂學校	一五四
五十四	日本美術院	一六四
<b>第九章 軍人</b>		
五十五	陸軍大學校	一六四
五十六	陸軍戶山學校	一六四
五十七	陸軍乘馬學校	一六五
五十八	陸軍砲兵工科學校	一六五
五十九	陸軍經理學校	一六五
六十	陸軍醫學校	一六五

六十一	陸軍士官學校	一六六
六十二	陸軍中央幼年學校	一六六
六十三	海軍大學校	一六六
六十四	成城學校	一六七
六十五	海城學校	一六八
六十六	百科學校徵兵豫備門	一六八
<b>第十章 語學</b>		
六十七	東京外國語學校	一六九
六十八	國民英語會	一七二
六十九	正則英語學校	一七六
七十	歐文正鶴學館	一七八
七十一	中央英語學校	一八九
七十二	福音會英語學校	一九二
七十三	獨逸語專修學校	一九二
七十四	至誠學院	一九五
<b>第十一章 中學程度</b>		
七十五	第一高等學校	一九八
七十六	東京府第一中學校	二〇〇
七十七	東京府第二中學校	二〇〇
七十八	東京府第三中學校	二〇〇

七十九	東京府第四中學校	二〇一
八十	京北中學校	二〇二
八十一	日本中學校	二〇四
八十二	商工中學校	二〇五
八十三	錦城中學校	二〇七
八十四	早稻田中學校	二一〇
八十五	東京開成中學校	二一一
八十六	明治義會中學校	二一二
八十七	郁文館中學校	二二三
八十八	京華中學校	二二四
八十九	曉星中學校	二二六
九十	順天中學校	二二九
九十一	大成中學校	二三一
九十二	獨逸協會學校中學	二二三
九十三	麻布中學校	二二四
九十四	立教中學校	二二四
九十五	正則中學校	二二四
<b>第十二章 受験</b>		
九十六	正則豫備學校	二三四
九十七	大成學館高等豫備門	二三五

141



九十八 東京學院……………二三八  
 九十九 數學專修義塾……………二三九  
 百 維新學館……………二四〇  
**第十三章 雜……………二四〇**  
 百〇一 高等師範學校……………二四〇  
 百〇二 東京商船學校……………二四一  
 百〇三 水産講習所……………二四二  
 百〇四 東京郵便電信學校……………二四六  
 百〇五 東京航海學校……………二四七  
 百〇六 青山學院……………二四九  
 百〇七 明治學院……………二四九

**女子之部**

**第十四章 女學……………二五〇**  
 一 離族女學校……………二五一  
 二 女子高等師範學校……………二五二  
 三 女子高等師範學校附屬高等女學校……………二五八  
 四 東京音樂學校……………二五九  
 五 東京府第一高等女學校……………二五九  
 六 東京府第二高等女學校……………二六一

七 東京府第三高等女學校……………二六一  
 八 日本女子大學……………二六一  
 九 日本女子大學附屬高等女學校……………二六六  
 十 三輪田高等女學校……………二六七  
 十一 東京高等女學校……………二六九  
 十二 日本女學校……………二六九  
 十三 東京女學館……………二七八  
 十四 跡見女學校……………二八一  
 十五 成女學校……………二八四  
 十六 帝國女學校……………二八五  
 十七 實踐女學校……………二九一  
 十八 日本正則女學校……………二九四  
 十九 興風女學校……………二九八  
 二十 頌榮女學校……………三〇〇  
 二十一 共立女子職業學校……………三〇一  
 二十二 女子美術學校……………三〇五  
 二十三 女子工藝學校……………三二六  
 二十四 第一女子技藝學校……………三二九  
 二十五 第二女子技藝學校……………三三一  
 二十六 下谷女子技藝學校……………三三一

二十七 日本女子美術學校……………三三二  
 二十八 東洋英和女學校……………三三三  
 二十九 立教女學校……………三三八  
 三十 女子語學校……………三四一  
 三十一 女子英學塾……………三四三  
 三十二 女子學院……………三四四  
 三十三 青山女學院……………三四五  
 三十四 高等女子佛英和女學校……………三四六  
 三十五 駿臺英和女學校……………三四八  
 三十六 歐文正鶴學館……………三五一  
 三十七 靜修女學校……………三五二  
 三十八 明治女學校……………三五四  
 三十九 普連土女學校……………三五五

四十 東京裁縫女學校……………三五七  
 四十一 女子裁縫高等學院……………三六〇  
 四十二 戶板裁縫女學校……………三六一  
 四十三 和洋裁縫女學校……………三六四  
 四十四 東京女子裁縫學校……………三六五  
 四十五 女子商業學校……………三六六  
 四十六 女子ミシン裁縫速成會……………三七〇  
 四十七 淑徳女學校……………三七〇  
 四十八 東洋女醫學校……………三七一  
 四十九 産婆學校……………三七二  
 五十 東京産婆講習所……………三七三  
 五十一 女子計算員養成所……………三七四  
 五十二 料理法講習所……………三七四

女東京遊學案内目次 終



# 東京遊學案内

## 遊學者の注意

東京は文藝の中心地なり、荷ぐし學に志す者、誰かは一度此處に足を負はざる、煉化造り殿めしき大學の校門より、下は大道ふ小路の陰舎に至る迄、朝八に夕へに出入する學者書生の數、幾千ぞや、併かも業成り身を立て名を後世に残す者、呼亦た果して幾千ぞや、此編の曲を賦して挽まざる精神を示し、村の境の土橋の袂に袖を分ち、歸らん時は斯くこそ、折しも散り來る紅梅を身に受けしも夢の間や、今まは大路吹く此の寒む空に、借ても見すばらしき我身哉、衣は行人に賣る新織より薄く、食は街頭に得る錢よりも少なし、家郷に歸らんも便り悪しく、終に有爲の資を抱いて、一生を都門の塵に埋むる者多し、これ抑も誰れの罪ぞや、遊子其の初めを慎まざるによる、東都は文藝の中心に相違なきなり、さばれ、亦た悪魔の棲家なり、八百八街行く處として悪魔ならざるはなし、未だ都馴れざる遊子にして、若し此の悪魔の網に掛りなば、其の極、身を新聞賣子に墜すも猶ほ及ばざる事あらん、編者今ま此の遊學案内を編むに當り、遊子諸士のために心付きし事をも語りなん、

## 一、上京の準備

今年にて學校も卒業せり、今は早や我が地方にて學ぶべき校舎なし、東京は學問の淵源なりと聞く、いでやこれより東都に上り、行く々々は吾れも一かどの人物にならでやば、遊學は吾が年來の素望なり、そを果す可き機は今ぞ來ぬ、左



なり左なり、能き折りを得て父上の許しを乞ひまつらん。決心の勝は鐵よりも堅く、月霞む春の夕、父上の獨り棟先きに腰掛け玉ひて、月に散る花に春の行方を眺め玉ふ折りを見計ひ、吾が願ひ斯く々々なり。陳し上りければ、父は満足の笑みか堪へて容易くそを許し玉ひぬ、吾れも今まは東都遊子の一人となれる哉、壓へんとして又た込か上くる心中の嬉しさ、種々に盡く未來の希望に其夜は終夜よすがら睡りもならず、次の日の借ても忙し、上京の準備、先づ學校の先生へは第一に通知せざるべからず、村の甲某、乙誰は竹馬よりの友なり、こゝ三四年の分れを一碗の茶に惜まずしてあるべき、在京の友人は、單なり手紙にて上京の通知をなすを忘れたり、鎮守の椎の太木にも暫しの分れを告げまほし、姉上は早く隣村に嫁き玉へり、明日は皆別に行かんか、此れも爲まし、彼れもなさまほしと、一日又一日、上京の期は三四日の後に逼りぬ、顧みれば只だ譯もなき事に忙殺せられて、取り止たる準備さてなし、吾れ今ま志を立て故郷の花に辞し、都門遊學の客となる、吾が歴史に於て一大時期なり、思慮を要すべき時なり、只た草深き田舎の地を去り、足を都門に入れたりして大事既に成りしにはあらず、注意は寧ろ銀座の繁榮を見し目に拂はざるべからず、上京遊學の只た嬉れしさの余り、上京後の事に就き、嘗て周到なる注意をなさざりしは實に迂愚の極みなりき、不注意の至りなりき、去れど憂ひ玉ふ勿れ、初めてのの上京には誰れしも斯くあるべき事なり早く心付き玉ひしこそ幸ひなれ、編者、今ま遊子諸士のために其の心得を説かん、

## 二、宿所の選擇

遊子諸士、上京の準備已に整ひ、朝夕住みなれし故郷に分れの辭を述べ、楚々たる楊柳の下に送り來れる朋友知己と袂を分ち、幾鷹亭を過ぎ、凍車に旅塵の夢を重ぬるいくよ旅夜、此の幾日來心に盡きし新橋に着し、初めて足を都門第一の地に

着けしより、直く必要なるは身を置く宿所なりけり、

東京に着して後ち初めて宿所を定むるは迂の最も迂なる者なり、諸士は豫かじめ其親戚若くは知己に書を裁して其の上京を知らし、上京後宿所の預定を托するをよしとす、殊に着京後少なくとも十日計りは親戚知己と同居し、萬事其の指導を受くるをよしとす、左もなくして上京後單身旅宿若くは下宿に就くは、自から好んで危地に陥る者なり、怪しむ勿れ、都門惡魔の網は斯る際最も能く其の効を顯はし、諸士が未だ都馴れざる其の風采、其の言語は忽ち諸士を擒にして彼等が口腹を肥やすに至るべし、ゆめ油断なしたまいぞ、

親戚知己と同居し、都見物も一通り済せなば、入學せし學校の開校に間もあらず、是に於てか諸士は、愈々其の本城を定むるの場合となれり、

本城を定むるに三つ要件あり、曰く、學校より遠かるべからず、曰く閑靜ならざるべからず、曰く、衛生に適せざるべからず、尙ほ吾れは附記して一ヶ條を勧めまく欲す、そは他にあらず、近傍に親友多き所をよしとす、これ不事の病等に犯されたる折りの要意なり、

若し夫れ諸士の親戚知己にして以上三要件の一だも備へなばよけれども、左もなくは茲に諸士は初めて「下宿生活」に入らざるべからず、諸士若し一日の閑を得て本郷、神田の街を歩け、其の多くの家が商家なるに拘はらず、又た他の多くの軒頭に「下宿屋」なる看板あるを見ん、是れ今ま將さに諸士が、其の本城として、三四年の起居をなすべき處にぞある、下宿屋にも種類あり、階級あり、名譽ある代議士の君達でさへ、下宿屋の六疊にて演説の下稽古さへし玉ふ事ある、概して書生の居る所は中以下なり、去れど中には未だ許されぬ稱號を振り回はして、既に一かこの紳士を氣取り電話がなくては何うの、電燈でなければ暗いなど、申されて兎角贅澤を極めらるゝ人あれど、是等は普通以外と見てよ



普通の下宿屋は食料大抵六圓より八圓位なるべし、尤も室代、炭油代等は別に請求す、此の六圓より八圓までの食料を拂ふたる食物が、如何に粗悪なるやは、諸士が先づ第一に驚く處なるべし、今迄父母の膝下において食物に不足を感ぜざりし遊學者が、常に故山を思ふは下宿屋の食膳に對する時なりといふも理りなりかし、近時下宿屋に對する社會の注意漸く厚く、下宿改良の聲を聞くに至るは誠に喜ぶべし、去れど習うより慣れるの諺に漏れず、嘗ては膳に向つて箸を抛ちし食物も、今まは中々三度の飯の待遠くして屢々下女を狼狽するに至るも可笑しからずや、室代は室の廣さ狭さによりて異れり、これも位置、場所によりて差違はあれど、三疊一圓五十錢、四疊半二圓、六疊三圓位は普通なるべし、

炭油茶は月末食料と共に實費を支拂ふ、去れど實費必ずしも實費にあらず、食費なる下宿商賣人の手は斯る僅かなるものに迄延ばされ利を握らざれば止まず、試みに普通彼等が云ふ實費なる者を舉げんに、炭、小さき炭斗に一杯十五錢位石油一日に一錢位、茶一度一錢五圓位なり、去れば斯る者は成るべくならば自から買ひ置くをよしとす、下宿屋以外市中所々に「貸間」なる貼り札あるを見ん、これ亦た諸士が假りの宿りとなすに足らん、否な寧ろ下宿屋の雑駁よりも貸間の閑楚なるこそ、却つて諸士勉學のために能き事あらん、去れど東京は飽く迄惡魔の棲家なりと思はざるべからず、斯る便利なる宿所(貸間)も時に惡魔の繩張内なることありて、其の害却つて下宿屋より甚しき事あり「貸間」の相場は大抵下宿屋と同じ、賄附あり、間丈けの分あり、其の費用は下宿屋と大差なしと考へなば間違ならん、

下宿屋を述べ、貸間を説き、今ま進んで學校の寄宿舎に移らんことを、都下の多くの學校は大抵寄宿舎を有す、學校監督の下にある寄宿舎、名は甚た美なり、諸士は其の名の甚た美なるによりて、或は地方中學校、師範學校の夫れの如くしかく規律嚴然たる者の如く思ひ、上京の曉は先づ寄宿舎に入りて登壇の功を其の室内に積まばやと思ひ玉ひしならんも、見るに聞くに大なる違ひ、都下諸學校の寄宿舎を一見せし人は、先づ一驚二驚も喫するならん、尤も流石は官の仕事だけに官立丈けは左したる事はなけれど、其他に至りてはこれ宛然たる昔しありきと聞く一個の仲間部屋ならんか斯る處に居て如何なることをか勉強さるべき、或る人が破落戸長屋の稱を下せしも、又た穴勝ち無理ならぬ事ぞかし、編者は今ま諸士に最良の宿所を辨ひ此の節を閉ちんとす、最良の宿所とは何ぞ、家庭的下宿これなり、夫婦二人暮らしなる内に、御客様としてではなく、家庭の一人として止宿するなり、暖かさホームの味は遊子望郷の念を醫するに足るべく、又た下宿屋の惡風より脱するを得べし、去れど此の種の下宿に至つて妙なければ、兼てより廣く朋友知人に頼み置くべしべからず、

### 三、學校の選擇

宿所の選擇は終れり、次に學校の選擇は諸士既に決せりや、ナニ否かな、學校の選擇は遊學に就き最も大切なる事なり、東京は學校の數頗る多く、彼處に登ゆる煉化層は何々學校なり、此處に建てられたるスレート葺きは何々校舎など、諸士が散策の折りなど先づ目を驚かす者の一ならん、政法文醫工の専門諸學校より、受験、速成の諸校舎に至るまで、算し來れば日も亦た足らざらん、況んや大學の數六七の多きに及び、突然上京學に就かんことを、殆ん其の選擇に迷ふに至らん、

學校選擇の良否は、志業成功の岐道なり、上京日に五六年、一事なすなく、一粟終るなく、苦學生なる一團の衆の下に



生涯を醉生夢死の裡に送る者、全く其の初め學校の選擇に重き措かず、朝たには法學書生として民法商法の條文に眼を曝せし者が、夕へには早や、醫學書生となりて臨床講義に欠伸を隱くす、斯くして焉んぞ錦衣故郷の土を陷むを得べき心すべき事ならずや、

學校を撰ぶに當り注意すべきは詐欺學校のある事これなり、詐欺學校の名、何ぞしかく奇なるや、諸子の如く田舎實純の心にては、學校程神聖なる所はなき様に感すべけんも、畢竟棲むなる都の空に又は學校商賈なる商賈往來になき名は此處にありけり、教育を以て一個の商品とし、學校を以て一個の營業所となす如きは、都人士の眼には決して怪しき事にあらず、此處らが編者の所謂惡魔の惡魔たる所なり、

本書收むる所の諸學校は其の中最も信用ある者を撰び、これならば諸子に勧めてもと思ふ者のみなれば、諸子は其の本來の志望に適せし學科に依り宜しく學校を撰擇すべし、勿論、學校には官公私立の別ありて、官立必すしも善きにあらず、私立必すしも惡しきにあらず、兩者の優劣を論しなば、一長一短、孰れも桃も櫻もいひ難かるべく、況んや編者には今まそが優劣論をなすべき時間と紙數とを有せざれば、そは諸子が心の間にくにせらるべし、

### 四、學費の計算

男兒既に學に志し、涼く京に遊はんさす、寧ろ勇士の戰場に出づるに比すべきか、去れど兵糧なくては戦ひ續かず、憐れ勇士をして、空しく鎧を脱がざるべからざるに至らしむ、遊學諸子も内に充分の學費を支ゆるの道なくんば、終には不幸中途より學を廢し、空しく一生を露けき田舎に歸らざるべからざる懸境に陥らん、斯の如きは諸子に取りて遺憾此の上なき事にして實に千秋の恨事とも云ふべからん、

東京は一國の首府として物價の高き處なり、此處にて勉強するは中々少なき費用にては出來ず、下宿料の相場は略ぼ前に説けり、茲に参考として一ヶ年の概算を上ぐれば、

授業料	三六、〇〇〇
校友會費	一、二〇〇
書籍、諸帳簿、繪具筆、紙墨、學用品代等	二五、〇〇〇
下宿料	一四四、〇〇〇
手套、シャツ、股引、脚絆、靴、靴下等	七、五〇〇
諸雜費	一一、〇〇〇
合計	二二五、七〇〇
一箇月平均額	一八、八〇〇
前表學資ノ外入學初年ニ在テハ左ノ臨時費ヲ要ス	
校友會入金	一、〇〇〇
製圖道具類	七、五〇〇
制服、制帽	八、五〇〇
外袴	八、〇〇〇
工場服	二、〇〇〇



前表は只た工業學校生徒のみの概算なり、これによるも、諸子は年々二百圓位の學費支出を付け置くを要す、學費は決して多きを要せざれども、又た強いて節儉するは悪し、殊に下宿屋を撰定するに當りても只た低廉なる所のみを撰ぶは一方に大なる不利益あるを知らざる者なり、

其他諸子に對して注意すべく指導すべき事多かめれど、これ等は寧ろ東京案内記の部類にこそ屬すれ、編者の職務以外を覺ゆれば、編者をして最後一句を叫はしめ、此の編を終り、諸子と分るることを得せしめよ、

### 五、結 論

要するに東京の地は多望なり而して危險なり、一面に光明あり一面に暗黒あり、學者の淵源にして惡魔の棲家なり、あらゆる大美徳もこゝにあり、あらゆる大罪惡もこゝに行はる、斯る難所に向つて旅立つ遊子諸士は亦たそれだけの決心なかるべからず、警告す、遊子諸士よ、大膽なれ、小心なれ、多辨なれ、訥辨なれ、輕快なれ、沈着なれ、豪華なれ、節儉なれ、喝、

## 第一章 政 法

東京は政治の中心なり、百官有司朝に立ちて一國の政事を執れば、政黨者流野にありて政事を議す、日比谷が原には昏ならなく花を咲かし、永田町邊りには秋ならなくに月をも奪ふ電燈の光り煌し、去れば遊子若し大なる抱負と大なる野心を以て此光景を見なば其抱負、其野心は忽ち勢ひを得て、直に身を政法の學に委ねん、八百八街の大道を横行する書

生の大半は、皆な未來の大臣將來の議員にあらずや、都下學校の數、數百に上る、而かも大學組織となして群學校を脱む者は悉くこれ政法の學校にあらずや、亦た盛んなりといふべし、今ま著名なる者を左に紹介せん、

### (一) 東京帝國大學 (官立)

數年前までは、八省の閣官に採用さるゝを馳かしく思ひしも、今まは肩幅却つて廣く覺ゆるは愚か、それすら中々六つ數、學士號ある巡査を見るならんこの取沙汰さへあり、面白るからの沙汰といふべし、官吏を造るが大學の目的ならば人材は却つて他の方面より出つべし、昔出の學士が依然社會に勢力あるは、新來先生の眠り覺めざるに由りて然るなり、東京帝國大學の地位は、讀者既に能く之を知れり、京都大學と共に我國最高の學府として、教師、器具、機械、書籍等悉く整頓具備せるはいふまでもなし、去れば學問藝術の蘊奥を極めんを欲する者は、必ず此の門に入らざるべからず、所在、本郷區元富士町、

組織、東京帝國大學を分て大學院と分科大學の二とす、

大學院、大學院は分科大學の卒業生若くは之と同等の學力を有する者にして入學するを得、

分科大學、分科大學を分て法科、文科、理科、工科、及び農科の六とす、

學年、九月十一日に始まり、翌年七月十日に終る、

入學、毎學年の始まりに一回とす、

入學資格、各專門學校大學豫科及び文部大臣に於て、大學豫科に準ず學科程度を具備すと公認したる學校の卒業證書を有する者は無試験入學を許し、然らざる者は入學試験を行ふ、



學費、受驗料 金五圓、入學料 金二圓、授業料月額金二圓五十錢、

稱號、各分科大學卒業生には其履修せし學科に従ひ、學士號を稱するを得、

學位、大學院學生にして五ヶ年の後、大學總長が制定したる學位試験に應じ及第したる者は、各々其の學科に従ひ、博

士の學位を授與せらる、

選科、各分科大學課程中一課目又は數課目を選び専修する者のために選科を設く、各級正科生に欠負ある時に限り入學

試験を行ふ、此の科の卒業生は稱號を稱することを得ず、

研究科、大學院卒業及び各分科大學卒業生にして既修の學科を更らに研究するものために研究科を設く、研究科生に

は自費と給費の二種あり、

特待生、學力優等、品行方正なる學生を選びて特待生となし、授業料を免す、

貸費生、特別保護保護を要する學科を修め、學力優等、品行方正にして、學費支辨の道なき分科大學生は分科大學より

年額八十五圓以内の學費を貸與することあるべく、又た官省會社若くは一人の依託に應じ、貸費を支給することある

べし、

但し貸費を受けたるものは、總て卒業の上、其の貸費を受けたる年數と等しき期限内に於て、之を月賦返納すべき義

務を有す、

圖書館、大學圖書館として有益なる内外の新書を藏し、大學生の閱覽に任す、

職員、大學總長山川健二郎氏、舎監武部直松氏、

## (二) 法科大學 (官立)

所在、帝國大學正門の右側にあり、

學科、政治學科、法律學科の二種とす、

課目、左の如し、

政治學科、憲法、經濟學、經濟史、財政學、統計學、國法學、政治學、政治史、行政法、國際公法、國際私法、法制

史、比較法制史、社會學、法理學、民法、商法、刑法、

法律學科、憲法、民法、商法、民事訴訟法、刑法、刑事訴訟法、行政法、國際公法、國際私法、法制史、比較法制史

羅馬法、英吉利法、佛蘭西法、獨逸法、法理學、

修業年限、四ヶ年、

職員、分科大學長種積八束氏、

## (三) 學習院 (官立)

所在、四谷區尾張町、

目的、天皇陛下の聖旨を奉し、宮内大臣の直轄に屬し、我國の貴族たる本分を盡すに足るべき材徳を養成するにあり、

學科、學科を分つて初等學科、中等學科、高等學科、大學科、海軍豫備の五科とす、

初等學科、小學程度により初等教育を授く、



中等學科、中等普通教育を授く、  
 高等學科、一層高等なる學科を授く、  
 大學科、主として政治、法律、哲學、及び外國語を教授す、  
 海軍豫備、海軍兵學校に入るの準備とす、  
 修業年限、初等學科六ケ年、中等學科六ケ年、高等學科三ケ年、大學科三ケ年、海軍豫備三ケ年、  
 學年、九月に始まり七月に終る、  
 稱號、大學科卒業生は學習院學士と稱するを得、  
 職員、院長公爵近衛篤磨氏、

### (四) 早稻田大學

參瀆戰く早稻田の邊、都門の塵を離れ、而かも都下幾百の校堂を睥睨す、其の社會に占め得たる信用等は今更らくと云ふも要なし、所謂都門の俊士が今ま現に社會に處しつゝある事業によりてこれを知れ、  
 所在、牛込區早稻田、  
 組織、早稻田大學の部門を大別して四とす、大學部、專門部、高等豫科、研究科是れなり、外に商科大學(三十七年九月開設)あり、

### ●大學部

目的、深く専門の學理を研究せしむると同時に、二種以上の外國語を修めしめ、以て廣く古今内外の書を參考せしむ、  
 學科、政治經濟科、法學科、及び文學科あり、(課程參照)  
 入學資格、中學校を卒業し、更に又た本校所定の高等豫科を卒業したる者、若くは之と同等の學力を有する者、  
 修業年限、三ケ年、  
 教員免狀、文學科卒業生に對しては、文部省より中學校、師範學校、高等女學校に於て倫理、修身、教育、英語の教員資格を附與せらる、  
 課程、左の如し、

●第一 政治經濟科		學科	學年
政治學	國策學 學原理(英書)	日比 行政法 憲法(英書) 政治學史	第一一年
經濟學	經濟原理 (英原書)	貨幣論 (英原書)	第一二年
財政學	銀行論、外國貿易論	經濟及財政學 (獨佛又ハ英書)	第一三年
史學	近代史(英原書)	近代史、最近時政外交史	







外國語	英語、獨逸語、佛蘭西語	獨逸語、佛蘭西語	同	上
-----	-------------	----------	---	---

●第三文 學 科

學科	學年	第一 年	第二 年	第三 年
哲 學		哲學概論(英原書)、心理學 西洋哲學史、論理學、社會學 東洋哲學史(印度)儒學(經學)	西洋哲學史、倫理學史(原書) 東洋哲學史(日本)儒學(子類) 教育學、倫理學、史	西洋哲學史、東洋哲學史(日本)倫理學(原書) 美學、教育學 心理學、宗教學 近世哲學(原書)
文 學		近世英文學(原書) 國文文學史	近世英文學(原書) 支那文學史	佛蘭西文學(原書) 近世歐洲文學(原書)
外 國 語		英語、獨逸語、佛蘭西語	同	獨逸語、佛蘭西語

第三年級ニアリテハ專攻ノ方針ニヨリ科目ヲ選擇セシメ哲學專攻ノモノニハ文學中ノ上世英文學及獨佛文學史ヲ省キ文學專攻ノモノニハ近世哲學ヲ省ク、又々獨逸文學、佛蘭西文學ハ其一ヲ擇ハシム

●專 門 部

目的 専門の學科ヲ修めしむるにあり、  
學科 政治經濟科、法律科、行政科、國語漢文科、歷史地理科、法制經濟科、及び英語科の七科に分つ。

入學資格 國語漢文科、歷史地理科、法制經濟科、英語科は中學校卒業生にして、更らに本校所定高等豫科第一學期修了の學力あるもの、政治經濟科、法律科、行政科は中學卒業生若くは之と同等の學力あるもの、  
修業年限 三ヶ年、  
教員免狀 國語漢文科卒業生、歷史地理科卒業生、法制經濟科卒業生、英語科卒業生に對しては文部省より中學校、師範學校、高等女學校に於て、各自修業の學科に就き教員たる資格ヲ附與せらる、  
課程 左の如し、

●第一政 治 科		學科	學年	第一 年	第二 年	第三 年
政 治 學				國家學原理、日本憲法	國法學、比較憲法	行 政 法
經 濟 學				經濟原論、經濟學史	貨幣論、應用經濟學	銀行論、外國貿易論
財 政 學					財 政 論	財 政 論
史 學				上 中 古 史	近代史、憲法史	外交史、最近時政治史
地 理 學				政治地理及商業地理		



刑	破	商	民	法	國	學	科	學	年	●第二法律科	論	外	法	哲
法	產	法	法	學	法	科	學	年	第一	論文及討論	國、語	學	學	
日本刑法汎論			親法總則、物權法	法學通論	日本憲法	第一	年	第一	年	論文	英語又、支那語	法學通論	論理學	
日本刑法各論		會社總則、商保險法	債權法		行政法	第二	年	第二	年	國論	同	民法要論、日本刑法		
	破	手形法、海商法	債權法		行政法	第三	年	第三	年	會文	同上	國際公法、商法要論	社會學	
	產	法	法		法					演習	同上			
	法									習習	同上			
										同同	同上			
										同上	同上			

商	民	法	國	學	科	學	年	●第三行政科	訴	論	法	國	裁	訴
法	法	學	法	科	學	年	第一	年	法	理	例	際	判	訟
	親法總則、物權法	法學通論	日本憲法	第一	年	第一	年	年	論	學	國	例	所	法
會社總則、商保險法	債權法		行政法	第二	年	第二	年	年	學	實	籍	法	構	
手形法、海商法	債權法		行政法	第三	年	第三	年	年	習	習	法	國	成	
									及	及	籍	際	法	
									訴	訴	法	際	法	
									訟	訟	法	際	法	
									演	演	法	際	法	
									習	習	法	際	法	
									上	上	法	際	法	



倫理學	實踐倫理綱要	倫理學	倫理學
法學	法學實習	法學實習及訴訟實習	同上
論理學	論理學		
經濟學	經濟原論	財政學	財政學
法例及國籍法	法例	國籍法	國際公法
國際法			國際公法
裁判所構成法		裁判所構成法	
訴訟法		刑事訴訟法 民事訴訟法	民事訴訟法
刑法	日本刑法汎論	日本刑法各論	
破產法			破產法

●第四 國語漢文科

學科 學年 第一一年 第二二年 第三三年

國語	增鏡、古今集、新古今集、平家物語、日本文學史、文法作文	枕草紙、大鏡、萬葉集、有職制度、言語學、日本文學史、文法作文	源氏物語、國語學史、日本文學史、宣命祝詞、古事記、讀本實習、美辭學
漢文	論語、大學、中庸、八家文、史記、唐詩選、蒙求、作詩作文	孟子、老子、莊子、左傳、詩經、支那文學史、作詩作文	易、支那支那文、學史、支那時文、讀本實習
英語	講讀、輪講	同上	講讀、輪講、英文學

●第五 歷史地理科

學科 學年 第一一年 第二二年 第三三年

倫理學	實踐倫理綱要	倫理學	倫理學
教育學	教育史	教育學	教育學、特殊教育學、教育法令
史學	國史、東洋史	國史、東洋史、考古學	國史、東洋史、西洋史、法制史、歷史研究法、古文書研
社會學			社會學

第三學年ニ於テハ本表授業時間ノ外ニ每週實地授業法ヲ講セシム、



地理學	日本地理誌	アシア、ヨーロッパ地理	オセアニア、アフリカ、アメリカ地理、地文學、製圖法大意
英語	國語漢文科ニ同シ	同上	同上
國語漢文	增鏡、史記、作文	大鏡、左傳	古事記、東鏡

第三學年ニ於テハ本表授業時間ノ外ニ每週實地授業法ヲ講セシム

●第六 法制經濟及英語科

學科	學年	第一學年	第二學年	第三學年
倫理學		實踐倫理綱要	倫理學	倫理學
教育學		教育學	教育學	教育學、特殊教育學
國法学		國家學原理	日本憲法	行政法
法學通論		法學通論		
民法			民法要論	
經濟學		經濟原論	貨幣論	

●高等豫科

財政學			財政學
國際法		國際公法	
英語	講讀、輪講、會話、文法、作文、筆記	同上	講讀、輪講、作文、朗誦法
哲學			社會學
歷史	西洋上古史	西洋近代史	
地理	西洋地理	同上	
國語漢文	增鏡、八家文又ハ論語	孟子又ハ左傳	

第三學年ニ於テハ本表授業時間ノ外ニ每週實地授業法ヲ講セシム

目的 大學に入るの楷程として設く、  
 入學資格 中學校卒業生若くは之と同等以上の學力あるもの、  
 修業年限 一年半、三學期に分つ、



課程 左の如し、

簿記	國法經濟	地理	歷史	英語	國語漢文	倫理	學科	學期
簿記		東洋地理	東洋史	音讀、文法、會話	講讀、文法、作文	實踐倫理綱要	第一期	第一期
簿記	法學大意	西洋地理	西洋史	同上	同上	同上	第二期	第二期
簿記	日本憲法大意	同上	同上	同上	同上	同上	第三期	第三期

● 研究科

目的 大學部、専門部の得業生にして尙ほ更らに深造なる研究を遂げんとする者のために設く、  
 科目 研究すべき科目は左の如し、

國法、行政法、國際法、經濟財政、民法、商法、哲學、史學、英文學、社會學、

● 商科大學

明治三十七年九月より開設の豫定なり、  
 目的 興業と實業との調和を計り、高等の學識ある實業家を養成するにあり、  
 學科 本科、豫科とす、  
 修業年限 本科三年、豫科一年半、  
 課程 左の如し

學科	學年	第一學期	第二學期	第三學期	第一年	第二年	第三年
倫理	一	實踐倫理	商業倫理				
憲法				二			
國語	五		商業作文	同上			
數學		三	商業數學	三			







職員 校長 法學博士鳩山和夫氏外講師百六十九人

(五) 慶應義塾 (私立)

慶應義塾は我國私立學校中、最も古き歴史を有し、名にし負ふ福澤塾の事にしあれば、現代の名士多くは此の門より出で、一時は盛名、帝國大學を歴し、三田の學校さしいへば天下亦た敵なきの形勢なりしが、時勢の進歩は此校をして獨り盛名を擅にするを許さず、輒近各學校何れも規模を擴張し、學科を改善し、加ふに私立大學、私立學等類りに起りて各々雄を競はんをせするに到りしかば、本塾も亦た組織を改め、教科を改良し、以て時勢に遅れざらんをたつこむ、  
學科 大學部、普通部、商業部とす、  
特典 大學部及び普通部在學の生徒は、徴兵を猶豫せられ、又卒業生は一年志願兵たるの特典を有す、  
寄宿舎 食料五圓、舎費三圓五十錢、

●大學部

目的 大學部は左の希望を有する者に必要なる學問をなましむる所とす、

- 一、法律學を專攻せんとする者、
- 一、經濟學を專攻せんとする者、
- 一、高等實業に従事せんとする者、
- 一、高等官吏たらんとする者、

一、政事に従事せんとする者、

一、新聞記者たらんとする者、

課程 各學生の目的に従ひ、主任教師に謀りて選ばしむ、即ち左の如し、

第一學年、

必修科 經濟概論、法律原理、近世歴史、心理學、論理學、地理(自然、政事) 英語、獨逸語又ハ佛蘭西語、

選擇科 漢文、高等數學、

第二學年、

必修科 經濟概論、法律原理、政事歴史、英語、獨逸語又ハ佛蘭西語

選擇科 簿記、漢文、高等數學、商業地理、倫理、教育、

第三學年、

必修科 經濟原理、經濟史、統計學、日本憲法、

選擇科 外交史、貨幣論、銀行論、民法(總則、物權)、刑法總論、英商用文例、獨逸語又ハ佛蘭西語、

第四學年、

必修科 經濟學史、關稅論、財政學、

選擇科 工業經濟、國際公法、英米法、民事訴訟法、刑事訴訟法、商法、民法、刑法各論、研究會、

第五學年、

必修科 社會問題、關稅論、財政學、



選擇科 外國貿易及運輸、行政法、國際私法、商法、民法、英米法、研究会、  
修業年限 五ヶ年、

入學資格 普通部卒業生は無試験、其の他は試験の上入學を許す、  
學費 受験料 金一圓、入學料金三圓、授業料一ヶ年金三十六圓(三期に分納せしむ)

### ●普通部

目的、課程は他の中學程度のもので大差なく、只た英學に力を注ぐを以て辦れり、  
修業年限 五ヶ年、

學期 五月一日より始まり、翌年四月二十五日に終り、三學期に分つ、

入學資格 滿十二年以上にして高等小學校二年級を卒へたる者、又は英學、數學の試験に及第したる者、  
學費 入學金 金三圓、授業料一ヶ年金二十五圓五十錢(三期に分納せしむ)

### ●商業學校

目的 商家の子弟及び諸學校の生徒にして、商業學の基礎を學習せんとする者に、商業學科を簡易適切に教授するにあり、  
課目 左の如し、

簿記、算術、英語(習字、作文)、商用作文、習字、商業地理、經濟、商法、商業歴史、商業要項、實地演習、

修業年限 二ヶ年、

學期 三月一日より翌年二月末日まで、

授業時間 午後六時より、

學費 入學金一圓、月謝一圓、校費二十錢、  
この外、小學校、幼稚園の股けありて、教育の連絡を取れり、

### (六) 東京法學院大學 (私立)

所在 神田區錦町二丁目二番地、

舊名 東京法學院、

目的 本大學は政治、法律及び經濟に関する高等専門の學術を教授するにあり、

學科 本科、専門科、豫科の三科とす、

本科は政治、法律及び經濟に関する高等専門の學術を教授し、英語若くは獨逸語によりて外國法を參加講修せしむ、  
専門科は政治、法律及び經濟に関する高等専門の學術を教授す、

豫科は本科に入るの階梯とす、

修業年限 本科三ヶ年、専門科三ヶ年、豫科一ヶ年中、

學年 本科、専門科は九月十一日に始まり、翌年七月十日に終る、豫科は四月一日に始まり七月十日に終り、分て三學期とす、



入學資格 各科入學資格は左の如し、

本科 年齢十八年以上の男子にして豫科卒業者、若くは中學校、師範學校卒業生にして之と同等の學力を有する者、  
専門科 年齢十七年以上の男子にして中學校、師範學校卒業したる者は正科生として入學を許し、其の他の者は別科、  
生として其の履歷により試験の上入學を許す、

豫科 年齢十七年以上の男子にして中學校、師範學校卒業生、

學費 受験料 金一圓

入學料 金二圓

授業料 本科一學年金二十五圓(月額二圓五十錢)

専門科一學年金二十圓(月額二圓)

豫科一學年金二十六圓(月額二圓)

研究科 本科及び専門科の卒業者にして既修の學科に付き尙ほ深遠なる研究をなす者のために研究科を設く、  
特待生 學術優等、品行方正なる學生を選び特待生となし、授業料を免除す、  
貸費生 學術優等、品行方正なる學生にして學費支辨の途なき者のために年額金百二十圓以内を貸與す、  
留學生 卒業者にして學術優等、品行方正將來有望なる者には、學費を貸與して海外に留學せしむ、  
特典 本大學學生は徴兵の猶豫及び一年志願兵の特典を有す(但し別科生を除く)  
法政學士 本科卒業生は法政學士と稱するを得、  
實習科 本科生をして學理の應用を鍛練せしめ、兼りて論文の起草、法規の立案を指導するため實習科を設く、

課程 各科の課程左の如し、

●本科課程表

科目	級別	第一 年	第二 年	第三 年
國 法 學	憲	法 比 較 憲 法 行 政 法		
民 法	民法總論、物權法、債權法	相續法、債權法		
商 法	商法總論、會社法、海關法、保險法	商行為論、手形法		
破 産 法			破 産 法	
刑 法	刑 法 汎 論	刑 法 各 論		
訴 訟 法		刑事訴訟法	民事訴訟法	
經 濟 學	經 濟 學		財 政 學	
國 際 法		國 際 公 法	國 際 私 法	
羅 馬 法	羅 馬 法			







國語漢文	講讀、文法、作文	六	同	六	同	六
外國語 <small>(英若クハ獨)</small>	讀方、書取、會話 作文、文法、譯解	一八	同	一二	同	一二
歷史			西洋歷史	三	同	三
地理			外國地理	三	同	三
法學通論			法學通論	二	同	二
論理學			論理學	二	同	二
簿記	大意	二				二
合計		二七		二九		二九

在外員 登校して親しく講義を聴く能はざる者のために在外員の制を設け講義録を發行す、  
 發行度數 各年毎月三回、  
 修業年限 三ヶ年、  
 月謝 金五十錢、  
 法學新報 毎月一回法學新報を發行す、

職員 理事(學長)菊地武夫氏、同土方寧氏、同奥田義人氏、外に博士學士の講師七十一名、

### (七) 明治大學 (私立)

所在 神田區駿河臺南甲賀町十一番地、  
 舊名 明治法律學校、

目的 法律、經濟に關する學術を教授し、及び其の蘊奥を研究するにあり、

學科 本科、専門科及び高等豫科の三つに分ち、別に高等研究科を置く、

本科及び専門科は法律、經濟に關する理論及び應用を教授す、

高等研究科は更に其の蘊奥を研究す、

高等豫科は本科に入るに必要な學術を教授す、

修業年限 三ヶ年、高等豫科一ヶ年半、

學年 九月十一日に始まり翌年九月十日に終る、高等豫科は四月に始まり、八月に終る、

入學資格 各科の入學資格は左の如し、

本科 年齢十七年以上の男子にして高等豫科を卒業したる者、若くは中學校卒業生にして之と同等の學力ある者、  
 専門科 年齢十七年以上の男子にして中學校を卒業したる者は正科生として入學を許し、其の然らざる者は特科生として國語(片假名交り文)、漢文(白文訓點)、數學(四則分數比則)を試験し入學を許す、  
 高等豫科 年齢十七年以上の男子にして中學校を卒業したるもの、



學費 入學金 金二圓

授業料 本科 専門科一學期各金二十二圓

高等豫科 月額金二圓

高等研究科一學期金十一圓

特待生 學術優等にして品行方正なる者を試験の成績に依り特待生となし授業料を免す、  
 貸費生 貸費生を本學貸費生及び寄附貸費生の二種とす、  
 本學貸費生 は學術優等且つ品行方正なる學生にして學費支辨の途なきものに年額金百二十圓以内を貸與す、  
 寄附貸費生 は寄附者の指定に従ひ、同一費額を貸附す、  
 海外留學生 卒業者にして學術優等且つ將來有望のものに認めたる時は特に海外に留學せしむ、  
 聽講生 本大學々生の資格なきものにして本學科課程の一科或は數科の講義を聽くものを聽講生とす、  
 特別生 學業及び品行に就き父兄の依頼により特別の保護を與ふる者を特別生となす、  
 寄宿會 嚴密なる寄宿會あり、食費金四圓五十錢、舍費金六十錢、  
 特典 徵兵猶豫及び一年志願兵たるの特典を有す、(但し特科生を除く)  
 明治大學法學士 本科卒業者は明治大學法學士と稱するを得、  
 明治學士 専門科の卒業者は明治學士と稱するを得、  
 圖書館 内外古今の書籍を備ふ、  
 出版部 明治法學を發行す、

課程 左の如し

●本科及ヒ専門科課程表

科別	學年	第一學年	第二學年	第三學年	每週授業時間
憲法			全部	二	
法學通論		法學通論			二
民法		總則、物權、親族 (自第一章至第七章)	物權第八章、債權(自第一章至第二章第四節)	債權(第三章自第五節至第八節及第五章)、相續	八 九 四
商法			第一編、第二編、第三編 (自第一章至第九章)	第三編第十章、第四編、第五編	六 六
破產法				破產法	二
民事訴訟法			第一編	自第二編至第八編	六
刑法		第一編	第二編		二 四
刑事訴訟法		刑事訴訟法			二
行政法			各論	論論 三半	



國際公法	國際私法	法例國籍法	法理學	經濟學	財政學	羅馬法	擬律擬判	訴訟論演習會	法制史	英佛又ハ獨法
				經濟原論、經濟學史		羅馬法		討論會		原英佛又ハ獨法
						二		每月二回		
			法理學					討論會		原英佛又ハ獨法
								每月二回		
國際公法	國際私法、法例				歲出入總論、公債論、歲計豫算論、租稅論		擬律擬判	訴訟論演習會	法制史	原英佛又ハ獨法
三	二						四	每月二回		

法政史及ヒ英佛又ハ獨法ノ二科ハ本科ノミニニシテ專門科ハ之ヲ用井ス

●高等豫科課程表													
科別	學期	第一學期(每週)	第二學期(每週)	第三學期(每週)	國語、漢文	外國語			歷史	地理	數學	倫理	心理
					四	英	獨	佛	三	二	四	二	二
					四	一八	一八	一八	二	二	二	二	二
					四	一八	一八	一八	四	二	二	二	二



簿記	法學通論
記	
一	
	二
	二

●隨意科課程表

佛語學科	漢文學科	科別		時間
		學期	學年	
會書ルシエゾ 文ヤールン 典アルル 取話サノ	書片文孟 讀假章誦 序名交軌 記文籍語	第一學期	第一學年	八
		第二學期	第一學年	八
會書ルシエゾ 文ヤールン 典アルル 取話サノ	書片文孟 讀假章誦 序名交軌 記文籍語	第一學期	第二學年	八
		第二學期	第二學年	八
會書ルシエゾ 文ヤールン 典アルル 取話サノ	漢近中大 文ノ思 論說	第一學期	第三學年	八
		第二學期	第三學年	八
會書ルシエゾ 文ヤールン 典アルル 取話サノ	漢傳書詩左 文ノ習 策論	第一學期	第三學年	八
		第二學期	第三學年	八

簿記學科	獨逸語學科	英語學科	科別	
			學期	學年
銀商官 行用用 簿簿簿 記記記	第一用書譯讀習綴 一ン書シ 二ンツヤ ク取讀方字	會書リスニナ 一第ンリウ本 二第ンガ第部 ク取話一マダ省 二ニ一ノ會	第一學期	第一學年
			第二學期	第一學年
每 週 六 時	一用會書文譯讀 一書 讀本 第ケ話取法讀方	會書小スリスロ 文イダ第ニナ 典ント三ンガ第部 取話ト四マダ省 ニ一三會	第一學期	第二學年
			第二學期	第二學年
每 週 六 時	二用會書文譯讀 二書 讀本 第ケ話取法讀方	會書ク大ス萬小 文イイ史國文 典ントトト第部 取話傳ンン五省 ニ一四會	第一學期	第三學年
			第二學期	第三學年
義 法 政 要	義獨スリニ用會書作文譯 乙メム第讀エ 法ルハ三本 政ヘハ三本 要ンカケ第ケ話取文法讀	會書傳ヘ語萬ス スチソ國イ ンゲア史イ 取話ケ物ト	第一學期	第三學年
			第二學期	第三學年
ア乙クエ ル法ロエ ン政ベス ツ要ナチ 義一ツシ	國史本第 ウエル本第 ンスチテ エスチツ 獨シ	會書ドアホニセ イソアフツ ツストンカ ルツ氏ルチ	第一學期	第三學年
			第二學期	第三學年
ンクエリ ゾロスチ ベチツシ ナーアル	詩解法會作譯 文用書律 抄獨乙書 チツ名 アツシ家	會書ンアテ ツムル コタウ ムス マ 取話スイア	第一學期	第三學年
			第二學期	第三學年



校外生 登校する能はざる者のために校外生の制を設け講義録を頒つ、

修業年限 三ヶ年、

発行回数 月三回、

月謝 金五十銭、

職員 校長岸本辰雄氏、教頭井上正一氏其外の講師九十八名あり、

### (八) 日本大學 (私立)

所在 神田區三崎町三丁目、

舊名 日本法律學校、

目的 日本法律、經濟學及び參考學科を教授するにあり、

組織 本大學は大學部、大學豫科、專門部、專門部高等専攻科及び高等師範部より成る、

大學部は法律學、政治學、經濟學等を主として攻究する所とす、

大學豫科は大學部に入學するに必要な學課を授く、

專門部は法律經濟に關する學術を授く、

專門部高等専攻科は專門部の卒業生にして尙ほ一層高等なる學術を修むる者のために設く、

高等師範部は中等教育の教員たるべきものを養成する所とす、

修業年限 各科の修業年限は左の如し、

大學部 三ヶ年、

大學豫科 一年五ヶ月、

專門部 三ヶ年、

專門部高等専攻科 一年以上二年以下、

高等師範部 三ヶ年、

學年 九月十一日に始まり七月十日に終る、

入學資格 左の如し、

大學部 大學豫科卒業生又は高等學校卒業生若くは之と同等の學力ある者、

大學豫科 中學校卒業生若くは之と同等以上の學力を有する者、

專門部 年齢十七年以上の男子にして中學校卒業生若くは普通入學試験に合格したるもの

高等師範部 師範學校又は中學校卒業生、

學費 入學金 金二圓(大學部に限り金三圓)

月謝 大學部金三圓、專門部金二圓、

專門部高等専攻科金一圓、大學豫科、高等師範科各金二圓五十銭、

特典 中學校卒業生にして本大學學生たるものは徴兵猶豫及び一年志願兵の特典を有す、

書庫 政治、法律、經濟に關する書庫を設く、

講談會 毎月諸大家に囑託して實地問題の講談會を開く、



優待生、學術優等品行方正の者には賞品を與へ若くは一學年分以内の授業料を免除す、  
 教員免狀、高等師範部卒業生は文部省より中等教育の法制經濟の教員免狀を附與せらる、  
 日本法律學士、大學部、專門部高等專攻科卒業生は日本法律學士と稱することを得、  
 課程、左の如し、

●大學部課程

第一部(法律科) 憲法、刑法、行政法、民法、商法、民事訴訟法、刑事訴訟法、國際公法、國際私法、經濟學、財政學、羅馬法及獨逸學、羅馬法及獨逸法律  
 第二部(政治科) 憲法、刑法、行政法、民法、商法、政治學、國際公法、國際私法、經濟學、財政學、羅馬法及獨逸法律

●大學豫科課程表

科目	第一學期		第二學期		第三學期	
	八月ヨリ	一月マテ	九月ヨリ	一月マテ	二月ヨリ	八月マテ
外國語	英又ハ獨	讀方、解譯、會話	同	同	同	同
數學	算術、代數、幾何	三角法	同	同	同	同
國語	講讀、作文、文法	文法	上	同	上	同
時數	四一	四一	四一	四一	四一	四一

漢文	地理	歷史	論理學
講讀、文法	同	日本地理、萬國地理	二八
四	同	日本歷史、東洋歷史	二七
上	三	三	一
四	同	萬國地理	二七
上	三	萬國地理	一
四	三	洋史	三
四	三	三	一

●專門部課程表

科目	第一學年級			第二學年級			第三學年級		
	總則編	物權編	債權編	物權論	債權論	相續編	親族編	遺囑編	繼承編
民法	自第一章至第六章	自第七章至第十章	自第十一章至第十四章	自第十五章至第十八章	自第十九章至第二十二章	自第二十三章至第二十六章	自第二十七章至第三十章	自第三十一章至第三十四章	自第三十五章至第三十八章
時數	二八	二七	二七	二七	二七	二七	二七	二七	二七



教育學	哲學	修身	財政學	經濟學	國際法	商法	民法			刑法	國法學
							親族編	物權編 自第一章至第六章	總則編		
							自第一編至第三編	物權編 自第七章至第十章	債權編		
教育ノ理論及應用	哲學概論	西洋倫理史		經濟學					總則	憲法	
教育史	哲學概論	西洋倫理史			國際公法				各論		
各科教授法、學校衛生教育法令、教授練習	心理學史	實理史	財政學			四編以下	相續編			行政法	

科學 目級	●高等師範科課程表										
	警察監獄學	羅馬法	財政學	經濟學	國際法	國法學	商法	刑事訴訟法	民事訴訟法	刑法	
	警察監獄學	羅馬法		經濟學		憲法		自第一編至第三編	自第一編以下	各論	
第一年級											
第二年級					國際公法		自第一編至第三編				
第三年級			財政學		國際私法	行政法	破產編以下				



地	理	日本地理	萬國地理	萬國地理
史	日本歷史	東洋歷史	西洋歷史	西洋歷史

● 専門部高等専攻科課程表

憲法、行政法、刑法、刑事訴訟法、民法、民事訴訟法、商法、國際公法、國際私法、經濟學、財政學、  
校外生 登校し能はざる者のために講義録を發行して、本大學の學科を修めしむ、  
修業年限 三ヶ年、  
發行回数 月三回、  
月謝 金四十錢、

職員 理事(學長)松岡康毅氏、同戸水寛人氏、同平沼騏一郎氏、講師百〇八名、

(九) 法政大學 (私立)

所在 麵町區富士見町六丁目十六番地、  
舊名 和佛法律學校、

目的 法律、政治及經濟に關する學科を教授し、且つ其蘊奥を攻究せしむるにあり、  
組織 大學部、専門部、高等研究科及大學豫科よりなる、

大學部は法律、政治及經濟に關する學術を教授し、英佛又は獨語によりて外國法を講習せしむ、  
専門部は専ら邦語を以て法律、政治及經濟に關する學術を教授す、

高等研究科は法律、政治及經濟に關する學術の蘊奥を研究せしむ、  
大學豫科は大學に入らんとする者のために必要なる豫備の學科を教授す、

修業年限 各科の修業年限左の如し、

大學部 三ヶ年、

専門部 三ヶ年、

高等研究科 一ヶ年以上三ヶ年以下、

大學豫科 一ヶ年中、

學年 九月十一日に始まり九月十日に終る、但し、大學豫科は四月に始まり翌年九月に終る、  
入學資格 各科の入學資格左の如し、

大學部 大學豫科卒業生若しくは中學校を卒業したる者にして大學豫科卒業生と同等の學力ありと認めたる年齢十八  
年以上の男子、

専門部 中學校、師範學校の卒業生若しくは之れと同等の學力を有する年齢十七年以上の男子、  
高等研究科 大學部及び専門部を卒業したるもの、

大學豫科 専門部に同じ、

學費 入學金各科各金二圓(高等研究科金一圓)、







英吉利法、佛蘭西法、獨逸法ハ其一ヲ選フヘシ  
 第一學年ニ於テ羅馬法、法租史、三學年ニ於テ法理學、破産法ハ各一ヲ選フヘシ

●專門部學科課程

破 産 法	計	二五	二五	二五	(二)
		學科	第一學年	第二學年	第三學年
		學級	第一學年	第二學年	第三學年
		每週授業時數	二	二	二
憲法	二				
民法	八	六	四		
刑法	二	二	四		
商法		六	四		
行政法			四		
法學通論	二				

●大學豫科學科課程

國 際 公 法	計	二	二	二
		國際私法	三	三
		民事訴訟法		第一編、第二編
		刑事訴訟法	二	第三編以下
破産法			二	
經濟學	三			
財政學		二		
論理學	(隨意)			
學科	第一學期	第二學期	第三學期	
每週授業時數	一	一	一	



國語漢文	六	講讀、文法、作文	六	同	六	同
外國語 <small>英佛又獨</small>	二〇	讀方、書取、會話、作文、譯解	一二	同	一二	同
歷史			三	西洋歷史	三	同
地理			三	外國地理	三	同
法學通論			二		二	
論理學			二		二	
簿記	二	大意				
計	二九		二九		二九	

各科目ノ每週授業時數ハ都合ニ依リ變更スルコトアルヘシ但各科ヲ通シテ一週授業時數二十四時間ヲ下ルコトナシ  
地理、歴史、簿記ハ之ヲ缺キ又ハ隨意科目ト爲スコトアルヘシ

校外生 登校し講義を聴くこと能はざるものために、講義録を頒布し校外生となす。  
修業年限 三ヶ年

發行度數 月に三回、  
月謝 金五十錢、

職員 總理権藤、耶山 教頭宮井政軍氏、外に講師百名あり、

### (十) 專修學校 (私立)

所在 神田區今川小路二丁目八番地、

目的 邦語を以て法律科、理財科を教授するにあり、

學科 法律、理財の二科とす、

課目 左の如し、

#### 法律科

第一年 法學通論、民法總論、民法(第二編物權)、羅馬法、帝國憲法、刑法汎論、經濟大意、

第二年 民法第三編(債權)、商法(自第一編至第三編)、民法第四編(親族法)、民事訴訟法、刑事訴訟法、刑法各論

行政學、比較憲法論、

第三年 法例、破産法、國際公法、國際私法、法理學、商法第二編(會社)、商法第四編(手形)、商法第五編(海商)

自治政原理、民法第五編(相続法)、財政學總論、

#### 理財科

第一年 經濟大意、經濟史(日本)、經濟學各論(貨幣論)、帝國憲法、民法總則、民法物權、社會學、萬國歷史、統



計學、簿記學、經濟地理、

第二年 銀行論、行政學、經濟學各論(農業、工業、商業政策)、民法債權、商法總則、商行爲、純元經濟學、刑法總論、簿記學、論策、

第三年 財政學(汎論及經常歲入論)、金融及財政、經濟史眼、社會政策、豫算會計論、經濟學各論(交通政策)、親族及相續、商法(會社及手形)、海商、國際法、國際私法、政治學、刑法各論、經濟史眼、論策、

科外 銀行實務論、保險政策、

隨意科

英語經濟學、財政史、商業實踐論、經濟貨物論、

修業年限 三ヶ年、

學年 九月十六日に始まり、七月十日に終る、

入學資格 年齢十七年以上の男子にして中學校、師範學校卒業生又は之れと同等の學力あるもの、

別に無試験にて入學を許可するものあり、之を員外生といふ、

學費 束修 金二圓、月謝一科金二圓、

優待生 前學年の試験に於て優等の成績を得たる者各級一名を選抜し優待生となし月謝を免除す、

職員 校長相馬永胤氏、校主高橋捨六氏、教頭松崎藏之助氏なり、

### (十一) 東京政治學校 (私立)

所在 神田區美土代町、

目的 有爲の青年に政治的學術の智識を與へ、高等文官となり、各議會の議員となり、外交官となり、新聞記者となる者の資格に必要な學殖を與ふるにあり、  
課目 左の如し、

第一學年 最新國經濟學(經濟原論、農業經濟論、商業經濟論)、法律學、國家學、日本政治歴史、支那政治歴史、歐洲政治歴史、近世外交史、列國制度通、政治地理、雄辨學、歐米新聞事業、文學、和文學、漢文學、政治經濟法律社會上の實地問題研究、圖書研究、

第二學年 最近國經濟學(貨幣學、金融學、銀行學、爲換學、外國貿易學)、法律學、國家學、米國政治歴史、上古中世外交史、社會學、帝國憲法、比較憲法論(英、米、獨、佛、瑞西、伊、西、澳諸國の憲法)、財政學(歲入論、歲出論、公債論)、統計學、國際公法、歐米新聞事業、雄辨學及應用、實地問題研究、圖書研究、

第三學年 經濟學諸大學の特別研究、國家學諸大家の特別研究、法律學、比較行政學、國際私法、羅馬法、財政學、英國憲法沿革史、歐米各國政黨史、市政府及公共團體の行政及財政、運輸交通學、新聞學及實踐、雄辨學及應用、實地問題の研究、政治學校議會、圖書研究、

修業年限 三ヶ年、

入學資格 年齢十七年以上の男子にして中學校、師範學校卒業生、若くは之と同等以上の學力あるもの、  
學費 束修金一圓、月謝金一圓五十錢、



校外生の創あり講義録を發行す、月謝金三十圓、  
校長松本君平氏、外に講師あり、

## 第二章 文學

今日の日本は創業の日本なり、無秩序の日本なり、當來の理想に達せんとして尙ほ未だ進歩の階段にあるの日本なり、日清戦役以後、其の名偵に揚りて一躍世界列強の伍伴に入りしさいへも、試に就て其の文化の度を測れば西歐北米の文化に比して及ばざるこゝ遠く、而して一度其の皮膜を擺脫せんか、所謂文明の弊なる者發生して、其の流毒實に驚く、に足るものあり、事實に於て日本今日の文明は跛足的文明なり、物質が精神に打勝つたる文明なり、舉世酒々として唯々實利實益を崇び、權を以て無上の終極となし、利を以て最後の目的とし、人間萬事唯是れ金の世の中、信仰何するものぞ、道義何するものぞ、名譽何するものぞ、義務何するものぞ、閑雅何するものぞ、任侠亦た果して何するものぞ、是に於てカエタント次ぎ、破壊次ぎ、過飾次ぎ、輕薄次ぎ、邪智次ぎ、詐欺次ぎ、貪婪次ぎ、慘酷次ぎ、毎日囃ケリスチア、チヤーチの説教、空しく淫猥を繰して、義人野に叫ぶの聲、僅かに木枯の反響を傳ふるのみ、此の秋に當りて能くこれを警醒するものは唯だ其れ文學か、あ、唯だ其れ文學か、

明治の革新は獨り形式上に變動を與へしのみならず、亦た實に思想界に變動を與へたり、嘗て幣間のお隣りなる戯作者今ま頤を撫して美を描く文學者となり、偏風の異名ある道學知生、近眼鏡を整へて最高上のサイエンスを修むる哲學者と誇る、甲某子の月俸百圓、乙某山人の原稿料五十圓、某哲學士の新説、青年會館に吹聴せられ、某作家の新聞、新聞の三面を賑はす、『天外』とつて』の聲、海老茶式部の間に和し、『逍遙萬籟』の音、早稻田の松風と共に高し、貸本屋

の小僧、紅葉物のほけるを喜び、秀英舎の職工、風々文の字の繁きを眩く、あ、文學々々、此の如くして止まずんば、世界最終審判の喇叭を鼓吹する一因は、必ずそれ文學にあらんか、

去れば功名に急なる青年秀才は競ふて此の門に向ひ、新刊小説を讀んで大家の名を知るもの、若くは郷黨にありて文名を貢ふものは、忽ち文學者志願の大家を起して、好個我手胸をあつたら草深き田舎に埋没せんより、中央文壇に出で、一旗幟を植てば所在の木の葉文士、降を乞はんは必定、況んや内外の博識に就て修業の功を経なば、東洋のシエクスピア、日本のギョテ、オホソ我ナンめり云ふに到るべし、然れども徐に聴け、文學者となるは決して容易の業にあらず、先づ天才と黄金とを有せざるべからず、

天才の要ある豈獨り文學のみならんや、然れども文學に於て特に其の要の大なるを見るなり、換言すれば文學家資格の第一要素は此の天才にして、假令胸中萬卷の書を暗んじ、家巨萬の富を蔵すとも、これなくんば何んの用をもなさず、この事に就ては既に説破したるもの多く、殊に文學者を志願する程の人々は、此位のこと既に御承知なるべければ茲に敢てくどくはいはじ、

天才に次ぐ第二要素は金なり、假令は古今に傑出する天才の人あり、魚窟苦心、漸く一篇を作り、書肆に托して江湖に出させんか、讀書社會の無情なる、先づ其の著者の未識なるによりて直ちに之を退け、此の處女作に對する極めて冷極めて淡、次で出だす賣れず、更らに出たす亦た賣れず、飢寒交々逼り督促日に加はる、此時に方りて自暴自棄の心を起さざらんさするも豈得んや、遂に芝公園松風はげしき處、一痕の月を追ふて多望の天才を没了するに至る、あ、亦た憐まざるべけんや、倚々内外の文豪に案するに詩聖ホーマー街頭に食を乞ふて遂に餓死し、有名なる『イリアッド』は其の乞食の料に口吟せし所さいひ、『フェアリー、クイン』の著者、エドモンド、スメンサー、愛蘭土の乱に遭ふて兒を



殺し家を失ひ、遂に倫敦橋下に屍を横へぬ、ゴールドスミスの『グレイカー』、フランクリンの費府行は能く諸子の知る所、我國に於ては乞食底の慘を聞かすといへども、未だ以て多幸多福といふべからず、儒者の清貧、曲亭の『回外利筆』屢々倫理談に引用せられ、一九三馬の貧乏、時に諸君が好笑の料となる、現代文壇に於て坪内先生、早稻田大學に教授の側、筆を執り、森博士、醫に衣食して文に従事し、其他紅葉、露伴乃至第二流第三流以下の諸氏、多く新聞社博文館によりて口を糊す、諸子にして平々凡々たる文學者に止まらんか欲せばいざ知らず、苟くも空前の大文學者となりて天晴れ言玉さきはふ國の文學を五州の表に顯揚せんか欲せば、少くも其の著作によりて衣食を得るまでを支ふるの資金なかるべからず、夫れ文學者は過去現在未來の三世を通じて生活するものなれば、よし現代に容れられずとも、知に百世の下に待つ心の掛、洵に必要なりといへども、現世に生息する上は現世に對する義務は盡さるべからず、若しそれ文學に於て志を得ずば、去りて他を求むるの勝れるに如かず、醉生夢死一生を徒費するは人生の賊なり、外道なり或け曰く、資金何するものぞ、我は唯だ人跡絶えたる深山の奥に鳥語を聞いて靜かに修養を加へんか、あゝ之れ過てり文學をして單に自然美の研究にあらしめば即ち已む、苟も正當に人間を研究し、解釋し、批評せんか欲せば、俗世間の裡に投して紅塵萬丈の間に其の觀察を遂げざるべからず、山林の獨棲、或は可なりといへども、之を以て真正に文學を修得すといふに至りては、或は恐る、彼の山を品し水を叙するを以て唯一の本願とするに至らんことを、今日或る一派の實利論者が文學を目して不生産的專業と評し、文學亡國論を唱ふるは、畢竟斯くの如き山林の獨棲者、若くは風雅てふ名辭の下に踰踏して先人の跡を摸倣するか、或は裁雲縫月キリツギ細工を事とする輩多きに起因するものにして、將來の文學者たらんものは進んで此の嘲を解くに力めざるべからず、

されば、吾人は決して諸子が折角の雄心を沮止せんとする者にあらず、現代の文壇、三文調和の聲を聞くも未だ完たか

らす、新詩の勃興屢々唱道せられて未だ其の實なく、眞や善や美や、若くは哲學、若くは戯曲、若くは小説、若くは律語、一として其の秀拔なるものあらず、好個之れ手腕を試むべきの秋、此際一瞬して文壇の盟主となり、火の如き天才を將て潮の如きインスピレーションを注ぎ、一枝の筆に天地を翻弄し人生を活殺し、目に見えぬ鬼神も憐れと思はせ、たけき武士の心を慰む、人生の快事何物か之れに如かむや、起て文界の有望子、ミューズは月桂冠を盛裝して諸君の來るを待てり、

## (十二) 文科大學 (官立)

所在、東京帝國大學構内法科に隣せり、  
 學科、學科を分つて哲學科、史學科、國史學科、博言學科、國文學科、漢文學科、英文學科、獨文學科、佛文學科の九  
 科を  
 設す、

課目、左の如し、

哲學科、哲學概論、西洋哲學史、史、國文學、漢文學、生理學、理學(動物若くは地質學)、羅甸語、英語、獨語、論  
 理學、知識論、社會學、比較宗教學、支那哲學、心理學、倫理學、美學、美術史、教育學、印度哲學、精神  
 病學、哲學演習、

史學科、哲學概論、地文學、史學、地理學、國文、支那歴史、人類學、比較宗教學、東洋哲學、社會學、古文書學、  
 美學、美術史、教育學、羅甸語、英語、獨語、

國史科、哲學概論、史學、國史、地理、法制史、國文學、漢文學、支那歴史及法制、比較法制史、古文書學、美學、美



術史、教育學、比較博言學、比較宗教學、社會學、支那哲學、印度哲學、法制史、英語、佛語、獨語、  
 博言學科 哲學概論、西洋哲學史、史學、國文學、國語學、支那語、漢文學、羅旬語、英語、獨語、梵語、心理學、人  
 類學、比較博言學、音學及ローマンス語、チエートニツク語、歴史教育學、希臘文法、佛語、  
 國文學科 哲學概論、史學、國史、法制史、國文學、漢文學、國語學、心理學、比較宗教學、東洋哲學、比較博言學  
 支那歴史、美學、美術史、教育學、支那哲學、社會學、佛語、獨語、  
 漢文學科 哲學概論、西洋哲學史、史學、法制史、支那法制史、國文學、支那歴史、支那哲學、支那語、漢文學、心  
 理學、比較宗教學、印度哲學、倫理學、美學、美術史、教育學、社會學、英語、佛語、獨語、  
 英文學科 哲學概論、西洋哲學史、史學、心理學、比較宗教學、音學及ローマンス語、チエートニツク語歴史、美學  
 美術史、教育學、國文學、英語、羅旬語、佛語、獨語、  
 獨文學科 哲學概論、西洋哲學史、史學、心理學、比較宗教學、東洋哲學、音學及ローマンス語、チエートニツク語歴  
 史、美學、美術史、教育學、國文學、羅旬語、英語、佛語、獨語、  
 佛文學科 哲學概論、西洋哲學史、史學、心理學、比較宗教學、東洋哲學、音學及ローマンス語、チエートニツク語歴  
 史、美學、美術史、教育學、國文學、羅旬語、英語、佛語、獨語、伊太利語、  
 修業年限 三ヶ年、  
 哲學會 哲學雜誌を發行す、  
 史學會 史學雜誌を發行す、  
 帝國文學會 帝國文學を發行す、

職員 文科大學長、井上哲三副長、*中村九郎*

(十三) 高等師範學校文科 (官立)

第十二章雜(九十九)高等師範學校を見よ、

(十四) 早稻田大學文學科 (私立)

第一章政法(四)早稻田大學を見よ、

(十五) 哲學館 (私立)

所在 小石川原町、  
 目的 東西兩洋の哲學、史學、文學、教育學及び宗教學を教授するにあり、  
 學科 教育部、哲學部の二部に分れ、各部又た第一、二の二科に分る、別に豫科を置く、  
 教育部は師範學校、中學校、高等女學校及各種學校の教員志望者を養成し且つ倫理、教育、國語、漢文、英語等を專修せ  
 んと欲するものを教授する所とす、  
 哲學部 は東西兩洋の哲學を專修し若くは我邦固有の神儒佛三道の哲理を講究せんと欲するものを教授する所とす、  
 豫科 は教育部及哲學部へ入學せんと欲するもの、受験豫備科として之を置く、  
 課程 左の如し、



●教育部第一科 (本科ニ於テハ倫理、教育及ヒ英語ヲ主トシ傍ラ哲學、國語、漢文、法制經濟ヲ教授ス)									
倫	理	四	實踐道德、倫理通論	四	實踐道德、倫理通論	四	實踐道德、倫理通論	四	實踐道德、倫理通論
教	育	四	教育史、普通教育學	六	教育史、特殊教育學	四	教授法、應用心理學	四	教育史、普通教育學
國	語	二	文典及作文	二	日本文學史			二	文典及作文
漢	文	二	論語	二	老子、莊子	二	周易	二	論語
哲	學	五	哲學概論、哲學史、論理學、東洋哲學綱要	二	西洋哲學史	二	社會學	二	哲學概論、哲學史、論理學、東洋哲學綱要
法	制	三	經濟	三	法制經濟	三	法制經濟	三	經濟
英	語	二	講讀、文典、會話、作文	二	講讀、文典、會話、作文	二	講讀、文典、會話、作文	二	講讀、文典、會話、作文
合	計	二八		二八		二八		二八	
●教育部第二科 (本科ニ於テハ倫理、國語漢文ヲ主トシ傍ラ教育、歷史、法制經濟、英語ヲ教授ス)									
倫	理	四	實踐道德、倫理通論	五	實踐道德、西洋倫理史	六	實踐道德、東洋倫理史	六	實踐道德、倫理通論
教	育	二	普通教育學	二	特殊教育學	二	教授法	二	普通教育學
國	語	七	文典及作文、大鏡、增鏡、古今集、新古今集、折焚柴の記、落輪譜	七	枕草子、日本文學史、太平記、平家物語	七	源氏物語、萬葉集、古事記、宣命、祝詞、言語學	七	文典及作文、大鏡、增鏡、古今集、新古今集、折焚柴の記、落輪譜
漢	文	八	論語、孟子、大學、史記、中庸、八家文及作文	八	老子、莊子、書經、禮記、左傳、近思錄、傳習錄、作文	八	韓非子、詩經、荀子、非子、支那文學史	八	論語、孟子、大學、史記、中庸、八家文及作文
哲	學	三	論理學、東洋哲學綱要	二	東洋歷史			三	論理學、東洋哲學綱要
法	制	三	經濟			三	法制經濟	三	經濟
英	語	四	講讀、文典	四	講讀	二	講讀	四	講讀、文典
合	計	二八		二八		二八		二八	

●哲學部第一科 (本科ハ東西兩洋ノ倫理、哲學及ヒ英語ヲ主トシ傍ラ國語漢文、法制經濟ヲ教授ス)									
倫	理	四	實踐道德、倫理通論	五	實踐道德、西洋倫理史	六	實踐道德、東洋倫理史	六	實踐道德、倫理通論
教	育	二	普通教育學	二	特殊教育學	二	教授法	二	普通教育學
國	語	七	文典及作文、大鏡、增鏡、古今集、新古今集、折焚柴の記、落輪譜	七	枕草子、日本文學史、太平記、平家物語	七	源氏物語、萬葉集、古事記、宣命、祝詞、言語學	七	文典及作文、大鏡、增鏡、古今集、新古今集、折焚柴の記、落輪譜
漢	文	八	論語、孟子、大學、史記、中庸、八家文及作文	八	老子、莊子、書經、禮記、左傳、近思錄、傳習錄、作文	八	韓非子、詩經、荀子、非子、支那文學史	八	論語、孟子、大學、史記、中庸、八家文及作文
哲	學	三	論理學、東洋哲學綱要	二	東洋歷史			三	論理學、東洋哲學綱要
法	制	三	經濟			三	法制經濟	三	經濟
英	語	四	講讀、文典	四	講讀	二	講讀	四	講讀、文典
合	計	二八		二八		二八		二八	
●哲學部第二科 (本科ハ東西兩洋ノ倫理、哲學及ヒ英語ヲ主トシ傍ラ國語漢文、法制經濟ヲ教授ス)									
倫	理	四	實踐道德、倫理通論	五	實踐道德、西洋倫理史	六	實踐道德、東洋倫理史	六	實踐道德、倫理通論
教	育	二	普通教育學	二	特殊教育學	二	教授法	二	普通教育學
國	語	七	文典及作文、大鏡、增鏡、古今集、新古今集、折焚柴の記、落輪譜	七	枕草子、日本文學史、太平記、平家物語	七	源氏物語、萬葉集、古事記、宣命、祝詞、言語學	七	文典及作文、大鏡、增鏡、古今集、新古今集、折焚柴の記、落輪譜
漢	文	八	論語、孟子、大學、史記、中庸、八家文及作文	八	老子、莊子、書經、禮記、左傳、近思錄、傳習錄、作文	八	韓非子、詩經、荀子、非子、支那文學史	八	論語、孟子、大學、史記、中庸、八家文及作文
哲	學	三	論理學、東洋哲學綱要	二	東洋歷史			三	論理學、東洋哲學綱要
法	制	三	經濟			三	法制經濟	三	經濟
英	語	四	講讀、文典	四	講讀	二	講讀	四	講讀、文典
合	計	二八		二八		二八		二八	



國語	二	文典及作文	二	日本文學史	
漢文	二	論語	二	老子、莊子	二
哲學	九	哲學概論、哲學史、論理學、東洋哲學綱要、比較宗教學、俱舍學	八	西洋哲學史、心理學、唯識學、起信論及唯識學	六
法制經濟				天宗社	教會哲學
英語	二	講讀、文典、會話、作文	二	講讀、文典、會話、作文	二
合計	二八		二八		二八
●哲學部第二科 (本科ハ東西兩洋ノ倫理、哲學及國語漢文ヲ主トシ傍ラ歴史、法制經濟、英語ヲ教授ス)					
倫理	四	實踐道德、倫理通論、西洋倫理史	五	實踐道德、西洋倫理史、東洋倫理史	六
國語	四	文典、鏡、及增鏡、作文	四	枕草子、日本文學史及作文	三
漢文	七	論語、孟子、大學、中庸、八家文及作文	五	老子、莊子、書經、禮記、左傳	八
歷史			二	東洋歴史	
第一一年					
第二一年					
第三一年					

哲學	九	哲學概論、哲學史、論理學、東洋哲學綱要、比較宗教學、俱舍學	八	西洋哲學史、心理學、唯識學、起信論及唯識學	六
法制經濟				天宗社	教會哲學
英語	四	講讀、文典	四	講讀	二
合計	二八		二八		二八

修業年限 本科三ヶ年、豫科一ヶ年、  
 入學資格 師範學校中學校を卒業したるもの若くは入學試験に合格したるもの、  
 學年 九月十六日より七月十五日迄とし、これを三學期に分つ、  
 學費 東修金一圓、授業料一ヶ年金二十圓、  
 講義録 本館より左の講義録を發行す、  
 中等科講義録、高等科講義録、通俗哲學講義録、漢學專修科講義録、漢學普通科講義録、佛教專修科講義録、佛教普通科講義録、妖怪科講義録、  
 館主 井上圓了氏、  
 大學組織 本年十月文部大臣より大學組織の許可を得たれば三十七年四月より愈々大學組織とするよし、

(十六) 國語傳習所 (私立)



所在 神田區三崎町一丁目、

學科 普通國語科、高等國文科の二とす、

傳習生 傳習生を設け、男女の兩部に分ち、女子部には詠歌を教ふ、

修業年限 普通國語科六ヶ月、高等國文科一ヶ年、

學費 東修金五十錢、普通國語科月謝金五十錢、高等國文科金一圓三十錢、  
講義録 兩科共に發行す、

### (十七) 國學院 (私立)

所在 麹町區飯田町五丁目、

目的 國史、國文、國法を教授し、併せて廣く之が研究及び應用に必須なる諸學科を修めしむ、

學科 學科を本科及び研究科とす、別に選科の設けあり、

研究科 本科を終へたる者をして、望により更に其學を講究せしむるものとす、

選科 本科中、學科を選みて入學するものために設く、

課目 左の如し、

本科 國史、國文(解釋、作文、語學、文學史、美辭、言語學、作歌)、道義、法制(古代法制、憲法、皇室典範)、外

研究科 國史(支那史、西洋史)、地理、論理學、心理學、教育學、漢文、英文、

研究科 國史、國文、道義、法制、哲學(世體學、西洋哲學史、審美學、東洋哲學史)、漢文、英文、

修業年限 本科三ヶ年、研究科二ヶ年、豫科一ヶ年、

學年 九月十一日に始まり、七月十日に終る、

入學資格 本科に入り得べきものは中學校、師範學校の卒業者、若くは之と同等の學力を有し、左の試験に及第したるものとす、

國文(解釋、作文、文法)、數學(算術、代數、幾何)、外國史、地理(日本及外國)、漢文、英語、

學費 月謝各科共金一圓五十錢、

賞與 給費、授業料免除、物品賞與の三種の賞與あり、

給貸費 學術品行共に最優なる生徒には學費を給與し、又た同じ生徒にして學費を支辨する能はざる者には、人員を定めて學費を貸與す、貸與額は一學年金七十五圓以内とす、

教員免狀 中學卒業生にして本院を卒へたるものは中等教員の資格あり、

國學院雜誌 本院より發行す、

職員 本居豊頌氏、木村正辭氏等あり、

### 第三章 商業

商業は一國の富を支配す、商業盛ならざれば一國富ます昔しは商人として卑まれし一階級が、今日は華族として傲然大道馬車を馳るに至りては、世運の進歩亦た喜ぶへし、即ち學生の好んで商業教育を受けんとするは、豈一國富力の増進として慶せざるべけんや、茲に都下に於ける商業學校の主なる者を示さん、



### (十八) 東京高等商業學校 (官立)

所在 神田區一ツ橋通町、

目的 主として内外商業に關する高等の教育を施し、將來公私の商務及會計を處理すべき者併に商業學校の主幹又は教員たるべきものを養成する所なり、

學科 學科を分ちて豫科、本科とし、別に専攻部を設く、

課目 左の如し、

豫科 商業道德、書法、作文、數學、簿記、應用物理學、應用化學、法學通論、英語、佛西獨伊清露韓語の内一語、  
体操、

本科 商業道德、商業文、商業算術、商業地理、商業歴史、簿記、機械工學、商品學、經濟學、統計學、財政學、民法、商法、國際法、商業學、英語、佛西獨伊清露韓語の内一語、

専攻部 本科の課程を終了したる後、尙ほ商業各般の専門に關して攻究せんとする者のために設く、其の必修課目は左の如し、

商業經濟、民法、商法并に比較商法、刑法大意、國際法、憲法、行政法、英語、第二外國語、  
而して更に左の一を選んで學修せしむ、

貿易業、銀行業、鐵道業、回漕業、保險業、  
修業年限 豫科一ヶ年、本科三ヶ年、専攻部二ヶ年、

學年 九月十一日に始まり、九月十日に終る、

入學資格 本校にて適當と認めたる公私中學校の卒業生にして、該校長の品行方正、學術優等、身体壯健と認証したる者は、試験を要せず豫科へ入學を許すべし、其他官公立學校にして普通學の程度、中學校以上と認めたる學科の卒業證書を有する者も亦た然り、以上記載したる者の外、入學志願者は、年齢滿十七年以上にして左の入學試験に合格したる者に限る、

和漢文(訓點、解釋)、書法、作文、數學(算術、代數、幾何、三角)、地理(内外)、歴史(内外)、圖書、物理、化學、博物、英語(書取、會話、反譯)、

學費、受験料金三圓、入學金一圓五十錢、授業料豫科一學年金二十圓、本科、専攻部同金二十五圓、  
貸費、學力優等、品行方正なる者にして、學費支辨の途なきものは、本人の願意と校長の認定により、一ヶ年金百圓以内の學費を貸與す、  
職員、校長松崎藏之助氏

### (十九) 早稻田大學商科大學 (私立)

第一章(四)早稻田大學を参照せよ、

### (二十) 東京商業學校 (私立)

所在 神田區錦町二丁目、







經濟學	一	經濟大意	二	經濟原論	二	銀行論	三	爲替論
財政學							三	貿易論
法學	一	法學通論	一	憲法	二	民法大意	三	公債論
商業學			二	商業通論	二	內外商業慣例	商法	
商業實踐							內外商業	
體操	二		二					
計	二六	二七	二八	二八	二八	二八		

職員 校長天野爲之氏なり、  
 其他の事は早稻田大學を參照すべし、

(二十二) 東京主計學校 (私立)

所在 神田區美土代町三丁目三番地、  
 目的 公私の會計に關する必須の學術及び實務を教授し、將來商店、銀行、會社及官廳等の會計事務に従事すべき職員  
 並に簿記計算の教師たるべきものを養成するにあり、

學科 學科を分ちて本科、選科とす、  
 本科は商工計算部、銀行事務部、官廳事務部に分ち選科は一課目以上所望に應じて之を修めしむ、  
 高等主計科 本科卒業生にして更に主計事務の蘊奥を研究せんとするもののために設く、  
 課目 左の如し、

學科目	三級	商工計算部	六ヶ月	毎週 時數	別一三五	會計簿記	和洋算算(諸比例迄)	簿記	簿記習字	貨幣取扱法	法規	經濟學
	二級	銀行事務部	六ヶ月	毎週 時數	別一三五	銀行簿記	和洋算算(同上求精迄)	簿記	貨幣取扱實習	民法、商法	經濟學	
學科目	壹級	官廳會計部	六ヶ月	毎週 時數	別一三五	官廳簿記	和洋算算(同上)	簿記	會計法令規則			



計算要項	計算に關する必要事項	一	二	三	四
銀行事務	銀行組織事務取扱法		二		
財政學	汎論、經濟歲入論 公債論、豫算會計論			二	
實踐		二			
合計		二八	二八		二四

隨意英語科 譯讀、習字、書取、會話、作文、

修業年限 本科一ヶ年六ヶ月高等主計科六ヶ月、

入學資格 年齡十六年以上にして尋常中學一年級以上の學力あるもの、

學費 入學金 金一圓、授業料 本科選科各金二圓、高等主計科 金三圓、

寄宿舎 食費六圓、舎費五十錢、

### (二十三) 慶應義塾商業學校 (私立)

第一章(五)慶應義塾見よ、

### (二十四) 簿記學專修館 (私立)

所在 神田區今川小路三丁目、

目的 簿記學を講し、官用銀行商社の實用に適するにあり、

學科 學科を分つて普通、速成、迅速の三とす、普通科は一日一回、速成科は一日二回、迅速科は一日二回以上教授す

課目 十二課に分つ左の如し、

實踐商業科、會社科、工業科、鐵道科、商用科、官用科、役場科、醸造科、質屋科、銀行科、家計科、農業科、

修業年限 左の如し、

普通科 學科に付き四十日以外二ヶ月以内とす、

速成科 同 二十日以外一ヶ月以内とす、

迅速科 同 十日以内とす、

學費 束修 金五十錢、普通科 月謝金六十錢、速成科 月謝金二圓二十錢、迅速科 一科卒業迄の謝金二圓、館費

一月金十五錢、

夜學 晝間余暇なき人のために夜學科を設く、

### (二十五) 簿記專門學校 (私立)

所在 神田區錦町一丁目、

### (二十六) 東京簿記專修學館 (私立)



所在 神田區美土代町、

(二十七) 東京簿記學校 (私立)

所在 神田區横須町、

(二十八) 東京簿記專門教習所 (私立)

所在 麹町區三番町、

以上四校は皆な共に簿記を専門に授つくる速成校にして學則等略は相同し、  
學科 課目概ね左の如し、

官用、商業、銀行、工業、農業、家計、原理等、

修業年限 大抵二ヶ月以下十日以上なり、

學費 東修一圓、月謝金五十錢以上二圓五十錢迄、

(二十九) 銀行事務員養成所 (私立)

所在 神田區今川小路三丁目、

目的 實地應用を期し専ら銀行事業に關する必須の學術及び實務を教授し、將來銀行の業務に従事すべきもの、則ち銀行事務員たるべきものを養成するにあり、

課目 左の如し、

銀行簿記、銀行事務取扱方、珠算、貨幣取扱方、

修業年限 甲 三ヶ月、乙 四ヶ月、丙 七ヶ月、

入學資格 高等小學校卒業若しくは之と同等以上の學力あるもの、

授業時間 左の如し、

甲 午前八時より午後二時半迄、

乙 午前十時より午後二時半迄、

丙 正午より午後二時半迄、

學費 入學金 金一圓、月謝 甲金五圓五十錢、乙金三圓五十錢、丙金二圓、所費金五十錢、  
學費免除 生徒にして學力優等、品行善良にて他生の模範となるべきものは全學費を免除す、

(三十) 京華商業學校 (私立)

所在 本郷區東竹町、

目的 一般商業に従事する者に必須なる教育を施すにあり、

學科 本科及び豫科に分つ、

本科は商業に關する學科を授け、

豫科は本科に達せんがために必要な普通學を授け、



學年 四月一日に始まり、三月三十一日に終る、これを三學期に分つ。  
課程 左の如し、

●本科課程

學科	學年	第一學年		第二學年		第三學年	
		時數	每週	時數	每週	時數	每週
修身	一	人倫、道徳、行要、旨義	一	商業、道徳	一	同上	同上
讀書	三	國語、漢文	二	同上	二	同上	同上
作文	二	尺牘、文紀事	二	論說、商業、用文、廣告	二	同上	同上
習字	一	楷行草(大小)	一	同上	四	同上	同上
數學	四	珠算、商業算術、代數	三	商業算術、代數、幾何	二	同上	同上
地理、歷史	二	内外商業地理、歷史	二	同上	二	同上	同上
簿記	三	簿記概念、商業簿記	二	銀行簿記	二	英文簿記	同上
商事要項	二	同上	三	同上	二	同上	同上

商	經	法	英	理	實	體	合
							三〇
			一 三 二 二	二 物 理 、 化 學		二 兵 式	
			一 三 二 一	二 同		二 同	三二
		二 法 學 通 論 、 民 法	一 同 上 上 上	二 同		上	
		二 商	二 同 上 上			二 同	三三
		二 經 濟 各 論	三 同 上			二 同	
		三 重 要 商 品	三 同 上			二 商 業 實 踐	
		法	七 七 上 上			上	

修業年限 本科三ヶ年、豫科二ヶ年、  
入学資格 左の如し、  
課科 滿十二年以上にして高等小學第二學年の課程終了の者、若くは之と同等の程度により入学試験に合格したる



本科 年齢十四年以上にして豫科卒業生及び中學校第二年の課程修了のもの、若しくはこれと同等以上の學力あるもの、  
 學費 東修 金一圓、月謝 金二圓、  
 職員 校長前田正名氏、

### 第四章 工業

工業の發達は人文の進歩と伴はざる可からず、都下に於ける工業教育が只た一つの官立にのみよるは多少の憚なしといへども、其の設備、其の規模決して小資本の能くする所にあらず、不完全なる校舍多からんよりは寧ろ少なきも完全なる校舍あらんを望む、

## (三十一) 工科大学 (官立)

所在 大學正門内左側にあり、

學科 土木工學科、機械工學科、造船學科、造兵學科、電氣工科、造家學科、應用化學科、火藥學科、探鑛冶金學科の九科とす、

課目 左の如し、

土木工學科 數學、應用力學、材料及構造強弱學、蒸氣機關、機械學、水力機、地質學、橋梁及施行法、道路、測地、

圖式力學、河海工學、鐵道、衛生工學、家屋構造、測地學、地質學、工藝經濟學、土木行政法、意匠及製圖實地演習、實地測量及製圖、計畫及卒業論文、

機械工學科 數學、應用力學、材料及構造強弱學、蒸氣機關、機械學、水力學、機械製造法、圖式力學、意匠製圖及實驗、機械工學、發電氣及發動機、製造冶金學、水力機兵火論、工藝經濟學、實地演習、特別講義、計畫及卒業論文、

造船學科 數學、應用力學、材料及構造強弱學、蒸氣機關、機械學、水力學、造船學、圖式力學、造船意匠及製圖、船用機關及製圖、機械製造法、工藝經濟學、實地演習、火兵論、計畫及卒業論文、

造兵學科 數學、應用力學、材料及構造強弱學、機械學、蒸氣機關、火藥學、火兵論及火兵製造、砲架及車輛、冶金學、水力學、圖式力學、化學實驗、製圖、砲外彈道學、火工學、彈丸論、砲架抗力、發電學及發動學、造船學、機械製造法、製造冶金學、工藝經濟學、意匠及製圖、實地演習、水雷學、特別講義、射擊表編設、卒業論文、

電氣工學科 數學、應用力學、材料及製造強弱學、蒸氣機關、水力機、機械學、電氣及磁氣、電信、電氣及磁氣測定法、機械製圖、化學實驗、電氣及磁氣實驗、電話、電力、電燈、發電器及電動機、工藝經濟學、意匠及製圖、電氣工學實驗、實地演習、特別講義、卒業論文、

造家學科 數學、蒸氣機關、材料及製造強弱學、測量學、地質學、應用規程、建築材料、家屋構造、建築沿革、住家、日本建築學、自在畫、圖式力學、實地測量、製圖及配景法、意匠及製圖、衛生工學、裝飾法、特別家屋配置法、施行法、製造冶金學、地質學、裝飾畫、實地演習、建築條例、美學、計畫及卒業論文、  
 應用化學科 礦物學、蒸氣機關、機械學、水力學、有機化學、定性分析、應用化學、冶金學、物理實驗、機械圖家



屋構造、火藥學、冶金學、工業分析、鑛物識別、吹管分析、化學史、試金術、鑛造及冶金學、化學實驗、意匠及製圖、卒業論文、

火藥學科 數學、應用力學、機械學、蒸氣機關、火兵論及火兵製造、火藥學、有機化學、水力機、圖式力學、化學實驗、實驗及製圖、砲外彈道學、機械製造學、彈丸論、英工學、應用化學、發電器及電動機、工藝經濟學、實地演習

水雷學、特別講義、化學史、卒業論文、

探鑛冶金學科 探鑛學、鑛物學、冶金學、地質學、蒸氣機關、機械學、家屋構造、測量學、鑛物識別、試金術、吹管分析、定量分析、實地演習、鑛床學、製造冶金學、鑛山法律、冶金實驗、工學實驗、探鑛計畫、冶金計畫、鐵冶金計畫、卒業論文、

修業年限 三ヶ年、

職員、分科大學長渡邊渡氏、

(三十二) 東京高等工業學校 (官立)

所在 淺草區藏前片町、

目的 工業に従事する者のために必要なる學理及技術を教授するにあり、

學科 學科を分つて染織科、窯業科、應用化學科、機械科、電氣科、工業圖案科、及び建築科とす、又た染織科を色染分科、機械分科に分ち、電氣科を電氣機械分科、電氣化學分科に分つ、

課程 各科の課程は左の如し、

●染織科色染分科

學科目	第一學年			第二學年			第三學年		
	第一學期	第二學期	第三學期	第一學期	第二學期	第三學期	第一學期	第二學期	第三學期
倫理	隔週	三全上	一全上	一全上	一全上	一全上	一全上	一全上	一全上
數學	代數 幾何	三全上	三全上						
物理學		四	四						
化學	無機	四全上	四有機						
一般應用化學				燃料 二 蒸氣	二 石炭瓦斯 二 硫酸	二 アルカリ			
應用機械學						力學材 二 材料	二 機械 二 水力學	二 發動機 二 大意	
色染				二 維精 二 漂白 二 染料	二 浸染	二 全上 二 擦染	二 全上 二 全上	二 全上 二 全上	二 全上
機織									
織物整理									







兵式体操	英語	工業簿記	工業衛生	工業經濟	物理學實驗	工場實修			機械製圖	圖畫	紡績
						機織	機練	染色			
二	四					機織 機練 染色			自在 幾何		
二	四					二全上			二全上		
二	四					二全上			二全上		
二	四					三			五機械圖		
二	三						白精 浸漂	分機 設計			
二	三				三		二浸染	五全上			
二	三				三		一八	五全上			
二	三		隔週		三	全上		五			
二	二	一	一	一		機發 機發				一	
二	二	一	一	一		三全上				一	
二	二	一	一	一		三全上				一	
二	二	一	一	一		三全上				一	

計		窯業科									
學科	科目	第一學年			第二學年			第三學年			計
		第一學期	第二學期	第三學期	第一學期	第二學期	第三學期	第一學期	第二學期	第三學期	
倫理	代數 幾何	隔週	一全上	一全上	一全上	一全上	一全上	一全上	一全上	一全上	三
數學	無機	四	三全上	三全上	三全上	三全上	三全上	三全上	三全上	三全上	三
物理學	有機	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四
化學	無機	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四
應用地質學	有機	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四
一般應用化學	燃料 窯料		二	二	二	二	二	二	二	二	二
應用機械學	石炭 瓦		二	二	二	二	二	二	二	二	二
窯業	アルカ ニ		二	二	二	二	二	二	二	二	二
	力學 材料		二	二	二	二	二	二	二	二	二
	力學 機械		二	二	二	二	二	二	二	二	二
	力學 大意		二	二	二	二	二	二	二	二	二
	力學 大意		二	二	二	二	二	二	二	二	二



●應用化學科

學科目	第一學年			第二學年			第三學年		
	第一學期	第二學期	第三學期	第一學期	第二學期	第三學期	第一學期	第二學期	第三學期
倫理	隔週 一全上	一全上	一全上	一全上	一全上	一全上	一全上	一全上	一全上
數學	代數 幾何 三全上	三全上	三全上						
物理學		四	四						
化學	無機 四全上	四	四						
鑛物學		二	四						
一般應用化學				燃料 二	石炭瓦 二	アルカ 二			
應用機械學				力學材 三	機械 三	發動機 三			
製造用機械							唧筒及 水壓機 二	製紙 二	製油製粉 二
冶金學									

圖畫	第一學年			第二學年			第三學年		
	第一學期	第二學期	第三學期	第一學期	第二學期	第三學期	第一學期	第二學期	第三學期
自在畫	幾何 五全上	五全上	五全上						
機械製圖				機械製圖 分設計 五全上	五全上	五全上			
工場實修	三	四	五						
物理學實修									
化學分析		定性 八定量 七全上	七全上						
工業經濟									
工業衛生							隔週 一全	一全	一全
工業簿記									
英語	四	四	四	三	三	三			
兵式体操	二	二	二	二	二	二			
計	三	三	三	三	三	三	三	三	三



特別應用化學	電氣化學	用器書	機械製圖	工場實修	物理學實驗	化學分析	工業經濟	工業衛生	工業簿記	英語	兵式体操
		幾何書									
		五全上				定性					
		五機械圖				一定量					
顏料、製粉	紙、油類		機械製圖			一六全〇					
四砂糖	二電鍍	電鍍論	注設計			一四					
四石鹼	二電氣アル	カリ等	全上								
四樹膠			五全上								
四木油											
四製革											
四色紙等											

計	●機械科											
	學科目											
	第一學年			第二學年			第三學年			特別講義		
	第一學期	第二學期	第三學期	第一學期	第二學期	第三學期	第一學期	第二學期	第三學期	第一學期	第二學期	第三學期
	隔週	一全上	一全上	一全上	一全上	一全上	一全上	一全上	一全上	一全上	一全上	一全上
	代數	幾何	微積分	代數	幾何	微積分	代數	幾何	微積分	代數	幾何	微積分
	物理學	物理學	物理學	物理學	物理學	物理學	物理學	物理學	物理學	物理學	物理學	物理學
	工作法	工作法	工作法	工作法	工作法	工作法	工作法	工作法	工作法	工作法	工作法	工作法
	應用力學	應用力學	應用力學	應用力學	應用力學	應用力學	應用力學	應用力學	應用力學	應用力學	應用力學	應用力學
	發動機	發動機	發動機	發動機	發動機	發動機	發動機	發動機	發動機	發動機	發動機	發動機
	特別講義	特別講義	特別講義	特別講義	特別講義	特別講義	特別講義	特別講義	特別講義	特別講義	特別講義	特別講義



●電氣科電氣機械分科

學科目	第一學年			第二學年			第三學年		
	第一學期	第二學期	第三學期	第一學期	第二學期	第三學期	第一學期	第二學期	第三學期
倫理	隔週	一全上	一全上	一全上	一全上	一全上	一全上	一全上	一全上
數學	代數 幾何	代數 幾何	全微積分	全微積分					
物理學									
電氣磁氣									
工作法									
應用力學			力學	材料 結構 其他	電燈 其他 電力 應用	電燈 其他 電力 應用	電燈 其他 電力 應用	電燈 其他 電力 應用	電燈 其他 電力 應用
電氣工學				電池 發電 交流 電機 設計	電池 發電 交流 電機 設計	電池 發電 交流 電機 設計	電池 發電 交流 電機 設計	電池 發電 交流 電機 設計	電池 發電 交流 電機 設計

學科目	第一學年			第二學年			第三學年		
	第一學期	第二學期	第三學期	第一學期	第二學期	第三學期	第一學期	第二學期	第三學期
電氣工學									
用器畫	幾何 畫	幾何 畫	幾何 畫						
機械製圖				機械 製圖 部分 設計					
工場實修									
物理學實驗									
工業經濟									
工業衛生									
工業簿記									
工場建築									
英語									
兵式体操									
計									



英語	工業建築	工業簿記	工業衛生	工業經濟	物理學實驗	工場實修		機械製圖	用器畫	發動機
						鑄造	木工			
						實修	鑄造		幾何畫	
						七全上	八全上		六幾何圖	
						七全上	七全上		六機械圖	
						七全上	五全上		六機械圖	
						四全上	四		六	汽機
						製圖				汽機
					三	八	五			汽機
					三	汽機、電				汽機
					三	方機、發電				汽機
					三	取接				汽機
					三	三全上				汽機
					三	二				汽機
					三	實電製				汽機
					三	驗氣圖				汽機
					三	三				汽機
					三	實水全				汽機
					三	驗力上				汽機
					三	三全上				汽機
					三	三				汽機

●電氣科電氣化學分科

兵式体操	計	學科目								
		第一學年			第二學年			第三學年		
	二	第一學期	第二學期	第三學期	第一學期	第二學期	第三學期	第一學期	第二學期	第三學期
	二	隔週	一全上	一全上	一全上	一全上	一全上	一全上	一全上	一全上
	二	代數	三全上	三全上	三全上	三全上	三全上	三全上	三全上	三全上
	二	幾何	三全上	三全上	三全上	三全上	三全上	三全上	三全上	三全上
	二	物理學	四	四	四	四	四	四	四	四
	二	化學	無機	四全上	四有機	四有機	四有機	四有機	四有機	四有機
	二	鑛物學	二	二	二	二	二	二	二	二
	二	電氣磁氣	三	三	三	三	三	三	三	三
	二	一般應用化學								
	二		燃料	二	石炭瓦	二	新破配	二	アルカ	二



電氣工學	電池發電 二全上 電燈其他電 二 發電所 二 發電機、變電線布 池等ノ取電設法并 二 配法	應用機械學	力學材料 三 水力學 三 發動機 三	冶金學		電氣化學	總論 二 電鍍 二 電氣アル カリ等 二 全上 電 治金 二 電氣 治金 二	用器畫	幾何畫 五 全上 五 機械圖 五	機械製圖		工場實修	電氣機械 電 花 二 六	物理學實驗		化學分析	定性 二 定量 一 三 全上 一 六	工業經濟		工業衛生	
------	--	-------	-----------------------------------	-----	--	------	---	-----	---------------------------------	------	--	------	--------------------------	-------	--	------	---	------	--	------	--

●工業圖案科

工業簿記	英語	兵式体操	計	●工業圖案科									
				第一學年			第二學年			第三學年			
				第一學期	第二學期	第三學期	第一學期	第二學期	第三學期	第一學期	第二學期	第三學期	
				隔週	一全上	一全上	一全上	一全上	一全上	一全上	一全上	一全上	
				倫理	化學	圖案法	有職故實	建築裝飾					











授業料 金三圓。

聽講生 本校の講義を傍聽する者を聽講生とす。

聽講料 一學期 金五圓。

海軍造兵生徒 本校生徒にして海軍出身を志願するものを造兵生徒とし、海軍省より月手當十圓被服料三十圓を支給せらる。

職員 校長手島精一氏、教授吉武榮之進氏、高山甚太郎氏、守屋物四郎氏、中原淳藏氏、玉木辨太郎氏、平山英三氏、三守守氏等あり。

(三十三)

東京高等工業學校附設工業教員養成所 (官立)

所在 東京高等工業學校構内、

目的 工業學校、徒弟學校、及工業補習學校の校長及び教員たるべきものを養成し兼て工業教育の方法を研究するにあり、

學科 本科及び速成科とす、

本科の學科を更に機械科、建築科、染織科、窯業科、應用化學科、工業圖案科に分つ、

速成科は更に金工科、木工科、色染科、機織科、陶器科、漆工科に分つ、

課程 左の如し、  
本科の課程は東京高等工業學校當該學科課程を適用し、外に教育學、教授法、教育法令を課す、

速成科

●金工速成科  
●木工速成科

學科	科目	金工速成科第一學年			木工速成科第一學年		
		第一學期	第二學期	第三學期	第一學期	第二學期	第三學期
修身		一	一	一	一	一	一
算術		四	三	二	四	三	二
理科			三	二		三	二
機械大意			三	三			
家屋構造大意							
家具製作法					(指物) 一	全上 一	全上 一
構造用材料					(大工) 二	(大工) 二	(大工) 二
圖畫	自在器 用器	一二			四二	四二	二



製	工場	兵式	每週時間合計
圖	實修	體操	
見取 一〇全上 一〇	一四 一七 一九 (大工指物) 一五〇(全上) 一六(全上) 一六(全上) 一八	二 二 二 二 二 二	三九 三九 三九 三九 三九 三九

備考

- 一 專修學科目ノ性質ニ依リ一學年ノ課程修了後尙一學期以上一學年以内在學セシム
- 一 金工速成科ニ於テハ鍛工、鑄工、仕上工、板金工ノ中ニ就キ其一ヲ專修セシム
- 一 金工速成科工場用具及製作法ハ工場實修時間ニ於テ便宜之ヲ課ス
- 一 木工速成科ニ於テハ大工指物ノ中ニ就キ其一ヲ專修セシム
- 一 木工速成科課程表中(大工)指物)ノ符號ヲ付スルハ特ニ該專修生ニ課スル時數ヲ示ス

●色染速成科、●機織速成科、●陶器速成科、●漆工速成科

學科目	色染速成科第一學年			機織速成科第一學年			陶器速成科第一學年			漆工速成科第一學年		
	第一學期	第二學期	第三學期	第一學期	第二學期	第三學期	第一學期	第二學期	第三學期	第一學期	第二學期	第三學期
修身	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

算術	理科	染色大意	機織大意	陶器製造大意	漆器製造大意	圖畫	工場實修	兵式體操	計
四	四	三				自在畫 用器畫	一八	二	三九
三	三	三				四三	二〇	二	三九
二	二	三				四四	二二	二	三九
四	四		三			四六	一五	二	三九
三	三		三			四五	一八	二	三九
二	二		三			四五	二〇	二	三九
四	四			三		四六	一五	二	三九
三	三			三		四六	一七	二	三九
二	二			三		四六	一九	二	三九
四	四				三	四六	一五	二	三九
三	三				三	四五	一八	二	三九
二	二				三	四五	二〇	二	三九

修業年限 本科三ヶ年、速成科一ヶ年以上二ヶ年以内、  
 入學資格 本科入學者は年齢十七年以上の男子にして、師範學校、中學校若くは之ニ同等以上の卒業生たる資格を



へ、地方長官の推薦したる者に就き入學試験を行ふ、  
 速成科入學者は年齢二十年以上にして徴兵の義務なく、三ヶ年以上工業に従事し、高等小學校第二年の課程を卒りたる者若くは之と同等以上の學力ある者を、地方長官の推薦の上、入學試験を行ふ、  
 入學試験 學課目左の如し、  
 本科 國語、英語、數學、物理及化學、圖畫  
 速成科 讀書、作文、算術、圖畫、實技、  
 學費 月謝を要せず、別に一人一ヶ月金六圓以内の學費を補給す、  
 研究生 生徒卒業の後既修の學術に就き其の一部を専攻せしむることを適當と認むる時は研究生として一ヶ年以内在學せしめ、一ヶ月金十圓を補給す、  
 職員 所長手島精一氏、主事三守守氏、

(三十四) 東京高等工業學校附屬職工徒弟學校 (官立)

所在 東京高等工業學校構内、  
 目的 木工金工の實技上必要な學科を授け善良なる職工たるべきものを養成するにあり、  
 學科 木工科、金工科とす、  
 木工科を更に大工、指物、建築製圖の三分科とし、  
 金工科を更に鑄造、木型、鍛冶、仕上、板金工附給工、機械製圖とす、

外に修身、算術、理科、材料、工具及製作法、圖畫、體操を課す、  
 修業年限 兩科各三ヶ年、  
 學費 第一年生に限り毎月(八月を除く)金二十五錢の授業料を徴し、第二年第三年は之を徴收せず、  
 入學資格 年齢十二年以上十六年以下にして尋常小學校卒業の學力ある者、  
 職員 校長は手島精一氏にして、内海靜氏、松澤喜和太氏等教授の任に當る、

(三十五) 工業教員養成所附屬工業補習學校 (官立)

所在 東京高等工業學校構内、  
 目的 職工に必須なる智識技能を補習せしめ、兼て工業補習學校の組織及其教育法の研究に資する所あらしむるにあり、  
 學科 修身、國語、算術、物理、化學、圖畫、木工材料、木工工具及製作法、家屋構造、規矩法、建築製圖、金工材料、金工工具及製作法、機械力學、發動機、機械製圖、色染法、機械、製造化學、工業圖案、  
 修業年限 四週以上一年以下、  
 學年 八月一日より七月三十一日まで、  
 入學資格 年齢十年以上の男子にして尋常小學校以上の學力ある者、  
 講話會 隨時工業講話會を開き、職工其他篤志者の傍聴を許す、  
 職員 校長手島精一氏、主任横澤多利吉氏、



### (三十六) 工手學校 (私立)

百十二

所在 京橋區南小田原町四丁目八番地、

目的 邦語を以て土木、機械、電工、建築、造船、探礦、冶金、應用化學の各科を教授し、其工手を養成するにあり、  
學科 豫科(一期二期)、本科(三期、四期、五期)の二とす、  
課目 豫科は左の如し、

算術、代數、幾何、三角術、英語初歩、物理學初歩、化學初歩、工業用普通文、圖畫、製圖、

本科は土木、機械、電工、建築、造船、探礦、冶金、應用化學に分つ、其の課目左の如し、

土木學科 數學、物理、力學、河工、海工、水理、道路、隧道、鐵道、施工法、橋梁材料強弱論、測量法、製圖、

機械學科 數學、物理、力學、地形構造及煉瓦職、蒸氣機關蒸汽罐、水力學水力機、工場器具、材料強弱論、機械

運動學、製圖、

電工學科 數學、物理、力學、電氣及磁氣、電氣實驗、電信及電話、電力及電燈、製圖、

建築學科 數學、物理、力學、家屋構造法、建築材料、測量法、和樣建築法、材料強弱論、仕様設計法、製圖、

造船學科 數學、物理、力學、木船、鐵船、構造強弱論、計算、レーインゴアフ、製圖、

探礦學科 數學、物理、力學、鑛物學、地質學、探礦學、測量法、機械運動學、製圖、

冶金學科 數學、物理、力學、鑛物學、地質學、冶金學、試金術、分析法、機械運動學、製圖、

應用化學科 數學、物理、力學、化學、化學手工、分析化學、應用化學、機械運動學、製圖、

修業年限 二ヶ年半、

入學期 二月、九月の兩度、

入學資格 中學校、師範學校卒業生若くは同等以上の學力ある者は試験を要せずして本科へ入學を許す、他は入學試験  
を行ふ、

入學試験は左の如し、

豫科 國語、算術、圖畫、

本科 算術、代數、幾何、三角術、製圖、英語初歩、物理學初歩、化學初歩、普通文、

學費 入學金 豫科金一圓、本科金二圓、授業料 豫科金一圓五十錢、本科金二圓、校費 一學期晝間金五十錢、夜間  
金一圓、

傍聽生 現に實業に従事する者にして就學の便なきものために設く、

職員 専務理事(管理長)古市公威氏、理事(校長)三好晋太郎氏其他眞野、辰野、渡邊の諸博士等教務を主理せり、

### (三十七) 鐵道學校 (私立)

所在 下谷區上野公園上車坂町、

目的 將來鐵道事業に従事すべき技術員及事務員を養成するにあり、

學科 建設科、機械科、業務科の三つに分つ、

課程 左の如し、



建設科

對數	幾何	代數	算術	化學	物理	英語	作文	漢文及習字	課目時間	
									前學期	後學期
1	2	3	4	1	1	9	2	2	1	
1	4	2	1	1	1	3	1	1	1	
2	2	1	1	1	1	2	1	1	1	

軌道	橋梁	機關車及車輛	結構強弱	應用力學	隧道及施行法	製圖	實測	測量	鐵道大要	建設法規	三角術		
												前學期	後學期
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
1	1	1	1	1	1	5	1	2	1	2	1		
1	2	1	1	1	2	4	2	3	1	1	3		



幾何	代數	算術	化學	物理	英語	作文	漢文及習字	課目時間		機械科	合計
								前學期	後學期		
二	三	四	一	一	九	二	三	一	二	二四	百十六
四	二	二	一	一	二	一	一	二	二四		
二	一	一	一	一	二	一	一	一	二	二四	
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	二四	

合計	製作附大意	機械及工具	蒸汽機及關	蒸汽機及車輛	工作材料	應用力學	製圖	鐵道大要	列車信號法及	三角術	對數											
												二四	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
												二四	一	一	一	一	一	五	一	一	一	一
二二	二	三	三	三	一	二	四	一	一	二	二											
二二	三	三	三	三	二	二	三	一	一	三	三											







修業年限 二ヶ年

學年 前學期及後學期に分ち四月及十月に始まる。

入學資格 年齢十六年以上三十年以下にして、高等小學校卒業者若くは同等以上の學力ある者は前期に入學を許し、同じく中學校二年の課程を卒へたる者若くは同等以上の學力ある者は後期に入學を許す。

學費 入學金 金一圓五十錢、月謝 第一年金一圓五十錢、第二年金二圓。

特待生 試験の成績優等且つ平素品行方正にして他生徒の模範となるべき者を特待生とし、月謝を免す。

高等科 本校卒業生にして特に志望する者のために高尚なる學理を授く、其の修業年限は一ヶ年とし、束修二圓、月謝二圓五十錢とし、其の課目は左の如し。

建設科		課目		學期	
		前學期	後學期	授業時間	
力	學	二		二	二
結	構			三	三
英	語			二	二

機械科		課目		學期	
		前學期	後學期	授業時間	
鐵	道			一	一
橋	梁			一	一
製	圖			四	四
測	量			二	二
數	學			三	三
工	業			二	二
實	習			四	四
合	計			二四	二四



業務科	合	實	工	數	製	蒸	工	車	力	結
	計	習	業	學	圖	汽	場	輛	學	構
			經	學	圖	汽	設	設	學	強
			濟	學	圖	汽	計	計	學	弱
	二四	三	二	三	三	三	一	二	二	三
	二四	三	二	三	三	三	一	二	二	三

課目	學期	前週		後週	
		學期	業時	學期	間數
英語		二	二	二	二
旅客運輸		一	一	一	一
貨物運輸		二	二	二	二
連帶運輸清算		三	三	三	三
鐵道賃金論		二	二	二	二
列車運轉計畫		三	三	三	三
鐵道收入論		二	二	二	二
鐵道支出論		二	二	二	二
法律		二	二	二	二
實習		五	五	五	五
合計		二四	二四	二四	二四



鐵道、電信、專修科、電機通信技術を専修せしめ、修業年限六ヶ月とし、月謝金一圓、束修金一圓、隨演科を設く、

寄宿舎、舎費一ヶ月金六圓、職員、校長野村龍太郎氏、講師五十嵐博士其他七十余名あり、

### 第五章 農業

筆を採らんよりは鋤を採れよは古人の金言なる哉、百の空育も一の實行に若かず、遊子諸士、机上の富國強兵を談ふより寧ろ歸りて一畝の田を耕せ、喝、

### (三十八) 農科大學 (官立)

所在、府下荏原郡上目黒村駒場、

學科、學科を分ちて農學科、農藝化學科、林學科、獸醫學科の四とす、

課目、左の如し、

農學科、岩石學、地質學、土壤學、氣象學、植物生理學、植物病理學、物理生理學、昆蟲學、農具、肥料、農藝物理學、經濟學、植物學實驗、農場實驗、土地改良論、普通作物、特用作物、牧草及牧場、家畜飼養論、畜産學、農産製造學、獸醫學大意、林學大意、農業經濟、農政學、養魚論、卒業論文、  
農藝化學科、化學原論、岩石學及地質學、土壤學、氣象學、植物生理學、動物生理學、肥料、農業化學、實驗生理化學、

學、土地改良論、普通作物、醱酵化學、家畜飼養論、食物及嗜好品、養蠶論、農業經濟、農藝物理學、農藝製造學、卒業論文、

林學科、氣象學、地質學及土壤學、森林數學、森林植物學、森林動物學、森林測量、森林植物學實驗、森林動物學實驗、造林學、林産製造學、森林道路學、森林利用學、森林歴史、森林保護學、森林設制學、經濟學、農學大意、林産製造學實驗、森林管理法、林政學、森林法律學、財政學、養魚學、實地演習、卒業論文、

獸醫學科、解剖學、生理學、組織學、理産學、病理通論、外科手術學、蹄鐵學、解剖學實習、組織學實習、蹄鐵法實習、藥物學、內科學、外科學、病體解剖學、寄生動物學、皮膚病論、蹄病論、調劑法實習、外科手術實習、家畜病院實習及内科診斷法、動物疫論、眼科學、衛生學、胎生學、家畜外視學、獸醫警察法、法醫學、乳汁検査法及實驗、病體組織學及細菌學實驗、家畜病院及往診實驗、

修業年限、三ヶ年、  
職員、分科大學長松井直吉氏

### (三十九) 農科大學乙科 (官立)

所在、農科大學構内、

目的、實業者を養成するにあり、

學科、農學科、林學科、獸醫學科の三とす、

課目、農科大學當該課目に同し、



修業年限 三ヶ年

入學資格 中學校卒業生若くは之と同等の學力を有するもの

貸費生 林學科には特に御料局よりの貸費生を設け、卒業の上は一定の年限間、同局より指定せられたる場所へ奉職すべし

學費 月謝金二圓

職員 松井直吉氏

### (四十) 農業教員養成所 (官立)

所在 農科大學構内

目的 農業教員を養成するにあり

學科 課目は左の如し

倫理、農業汎論、農藝化學、耕種、畜産、農業經濟、教育學、教授法、体操、實習、實驗及演習、  
修業年限 一ヶ年

學費 授業料は徴收せず

學費支給 在學中は一人に付き一ヶ月金六圓以内を給す

入學資格 中學校、師範學校若くは同等以上の農業學校を卒業し、品行方正にして在學中、家事に係累なく志望なく志望確實なるもの

### (四十一) 蠶業講習所 (官立)

所在 府下北豊島郡西ヶ原

目的 蠶業に関する智識を教授し、兼て教員技手を養成するにあり

學科 本科、別科をす

修業年限 本科二ヶ年、別科五ヶ月

入學資格 本科は中學校卒業と同等の學力を有し、三年以上蠶業に従事したる証明ある者、別科は三年以上蠶業に従事したるものにして入學試験に合格したるもの

學費 授業料を徴收せず、官費をす

### (四十二) 東京高等農學校 (私立)

所在 府下豊多摩郡澁谷村

目的 農の學理と技術とを教授するにあり

學科 課目は左の如し

第一年 倫理、動物學、植物學、物理學、作物論、無機化學、算術、農具論、園藝學、氣象學、農場實習、  
第二年 倫理、有機化學、植物生理學、代數、幾何、作物論、土壤論、畜産學、養蠶論、害蟲論、經濟學、林學大意、農場實習



第三年 倫理、教育學、三角法、測量術、植物病理學、作物論、土地改良論、畜産學、農産製造論、農業經濟論、肥料論、農場實習、

修業年限 三ヶ年、

學年 前期、後期とし、十月、二月に始まる、

入學資格 年齢十四年以上にして高等小學校卒業の者、

學費 入學金一圓 月謝金二圓、

選科 の設あり、

### 第六章 理學

大發明なき國民は無智の國民なり、吾國に大發明なきに於て深く世界に恥つ、理學豈奨めざるべけんや、

#### (四十三) 理科大學 (官立)

所在 帝國大學構内法科大學の傍りにあり、

學科 數學科、星學科、物理學科、化學科、動物學科、植物學科、地質學科の七科とす、

課目 左の如し、

數學科 微分積分、幾何學、力學、球面星學、數學演習、物理學及實驗、微分方程式論、楕圓函數論、最小二乘法、

數學雜論、數學研究、星學理論、

星學科 微分積分、解折幾何等、力學、球面星學、實地星學、數學演習、微分方程式論、楕圓函數論、最小二乘法、

物理學及實驗、星學及實驗、星學理論、

物理學科 微分積分、解折幾何學、力學、球面星學、化學實驗、物理學及實驗、數學演習、微分方程式論、楕圓函數

論、最小二乘法、星學實驗、

化學科 微分積分、力學、物理學、生理化學及實驗、化學實驗、數學演習、物理學及實驗、無機化學、有機化學理論、

物理化學、

動物學科 普通動物學、骨格學、動物學實驗、普通植物學、植物識別及解剖實驗、地質學、生理化學及實驗、礦物及

岩石實驗、植物分類學、有脊動物學比較解剖、組織學及發生學實驗、生理學、古生理學、臨海實驗、寄生動

物バクテリア學實驗、人類學、特別問題、

植物學科 普通動物學、骨格學、普通植物學、植物識別及解剖實驗、地質學、生理化學及實驗、礦物及岩石實驗、植

物分類學、有脊動物比較解剖、組織學及發生學實驗、生理學、古生理學、臨海實驗、植物生理學、植物學實

驗、バクテリア學實驗、

地質學科 地質學、礦物學、岩石學、普通動物學、骨格學、動物學實驗、化學實驗、礦物學實驗、岩石學實驗、地質

巡驗、古生理學及實驗、晶像學又實驗、植物學及實驗、地質學叢談、地質學及礦物學研究、人類學、地質學、

修業年限 三ヶ年、

職員 大學長 箕作佳吉氏、



(四十四) 東京物理學校 (私立)

所在 神田區小川町一番地、

目的 理學の普及を助けんがため數學、重學、測量、物理學及び化學を授くるにあり、  
學科 課目左の如し、

第一學期 算術、代數學、幾何學、

第二學期 算術、代數學、幾何學、物理學、

第三學期 代數學、幾何學、三角法、物理學、化學、

第四學期 代數學、解析幾何學、測量、重學、化學、物理學、

第五學期 微分積分、重學、物理學、化學、物理學實驗、

第六學期 微分積分、重學、物理學、化學、物理學實驗、化學實驗、

修業年限 一ヶ年を二學期に分ち三ヶ年、

學年 二月、九月の兩度とす、

預科 別に選科の設けあり、

入學資格 年齢十四年以上にして略々算術を解する者、

學費 入學金 金一圓、授業料 第一學期金五圓、第二學期金六圓、第三、第四學期各金七圓、第五、第六學期各々金九圓、

職員 有名なる博士、學士教授をさる、

校長 中村精一郎

(四十五) 順天求合社 (私立)

所在 神田區仲猿樂町四番地、

目的 數學、測量、天文等の諸學科を教授し、主として理學の普及を助け且つ官私諸學校の教師及び測量技師を養成するにあり、

學科 正科の外に測量專修科、數學速成科を設く、

測量專修科 測量は目下の必要術なるを以て該修學者のために速成を主とし實地に應用し得べき完全なる技術を得せしむるために設く、

數學速成科 數學の普及を計り、且つ諸學校の受験者並に餘暇を以て數學を修めんとするものために速成を以て教授するために設く、

課程 各科左の如し、

◎ 正 科			
學 級	學 科	程 度	
前	算 術	最 初	ヨ







製	代	幾	三	珠	●數學速成科		口
					圖	授	
二	三	三	四	一	算	開平開立マテ	佐久間文太郎譯 チャールスフミス氏小代數學
初等代數全體	初等幾何教科書	菊池大麓編	田中矢徳編 平三角教科書 共益商社出版 六線對數表				
幾何	平面全體	幾何	平面全體				
代數	一次方程式マテ	藤澤利喜太郎著 代數學教科書上下	藤澤利喜太郎著 算術小科教科書上下				
算術	平面幾何	菊池大麓著 初等幾何教科書					
幾何	二次方程式ヨリ	藤澤利喜太郎著 代數學教科書上下					
組	乙	甲					
學	程	度	教科用書				

組	ノ	幾		何		幾		何	
		三	角	法	平	面	三	角	法
		菊池大麓著 初等平面三角法教科書	菊池大麓著 初等幾何教科書	藤澤利喜太郎著 代數學教科書上下	藤澤利喜太郎著 算術小科教科書上下	菊池大麓著 初等幾何教科書	菊池大麓著 初等幾何教科書	藤澤利喜太郎著 代數學教科書上下	藤澤利喜太郎著 算術小科教科書上下

修業年限 正科三ヶ年、測量專修科半ヶ年、數學速成科三ヶ月、  
 學期 正科四月一日に始まり、測量專修科三月一日に始まり、數學速成科毎月始まる、  
 入學資格 年齢十四年以上にして略々算讀に通ずる者、  
 學費 入學金 金一圓(數學速成科金五十錢)

正科 月謝金一圓、測量專修科 同金一圓五十錢、  
 數學速成科 同金七十錢、

(四十六) 東京數學院 (私立)

所在 神田區仲猿樂町二番地

目的 數學を研究せんとする者并に數學教員たらんとする者のために數學を教授するにあり、  
 學科 課目左の如し、

第一學期 算術(初より比例迄)、代數(初より二次方程式迄)、平面幾何(初より圓迄)、  
 第二學期 算術(比例より終迄)、代數(二次方程式より方根迄)、平面幾何(圓より終迄)



第三學期 代數(方根より適法迄)、立体幾何(全体)、平面三角法(全体)、  
 第四學期 球面三角法(全体)、方程式論、解析幾何學(平面)、  
 第五學期 解析幾何學(立体)、微分積分、  
 修業年限 第一、第二學期を各々四ヶ月とし、第三期以下六ヶ月とす、  
 學費 入學金 金五十錢 月謝金七十錢、  
 職員 校長上野清氏、

### 第七章 醫學

吾國に於て最も早くより進歩したる科學は醫學なり、世界の學術界に於て優勝の名譽を博しぬる吾國醫術の進歩は吾國の名譽なり、而して都門僅かに一醫科大學の外名ある校舎なきは何ぞや、殊に本年八月に至り吾國醫史に名を止むべき濟生學舎の廢校は大に悲しむべき事なり、諸子、奮然身を醫界に投して吾國の名譽を掲ぐる心はなきや、

### (四十七) 醫科大學 (官立)

所在 東京帝國大學構内赤門の内にあり、  
 學科 醫學科、藥學科の二とす、  
 課目 左の如し、  
 醫學科 解剖學、同實習、組織學、同實習、生理學、病理總論、病理解剖學實習、胎生學、局處解剖學、藥物學、

化學實習、處方學、病理組織學實習、診斷學、外科總論、婦入科學、眼科學、衛生學、内外各論、外科各論、內科臨床講義、內科外來患者臨床講義、外科臨床講義、外科外來患者臨床講義、繩帶學實習、產科學、產科模型實習、法醫學、外科手術實習、產科婦人科臨床講義、產科婦人科外來患者臨床講義、眼科臨床講義、眼科外來患者臨床講義、檢眼鏡實習、皮膚病學、微生物學及臨床講義、精神病學及臨床講義、細菌學實習、小兒科臨床講義、小兒科外來患者臨床講義、  
 藥學科 製藥化學、應用植物學、植物解剖學、分析術實習、製藥化學實習、植物學實習並顯微鏡用法、生藥學、裁判化學、衛生化學、植物分析法實習、生藥學實習、有機体攻究法、調劑學、同實習、裁判化學實習、衛生化學實習、藥局方使用實習、卒業論文、

修業年限 四ヶ年、  
 職員 大學長青山胤通氏、

### (四十八) 東京慈惠病院醫學校 (私立)

所在 芝區愛宕町、  
 目的 専ら醫學生徒を養成するにあり、  
 學科 課目左の如し、  
 第一冬期 物理學、化學、解剖學、



第一夏期 物理學、化學、解剖學、生理學、  
 第二冬期 化學、解剖學、生理學、實際解剖、實際化學、實際組織學、  
 第二夏期 藥物學、產科學、微菌學、實際外科、  
 第三冬期 內科學、外科學、眼科學、病理學、  
 第三夏期 內科學、外科學、眼科學、病理學、外科手術、病的組織學、  
 第四冬期 內科學、外科學、婦人科學、衛生學、小兒病學、皮膚病學、耳科學、鼻咽喉科學、臨床講義、  
 第四夏期 婦人科學、法醫學、小兒科學、耳科學、鼻咽喉科學、臨床講義、  
 修業年限 四ヶ年、

學年 一年を冬夏に分ち、冬期は九月、夏期は四月より始まる、  
 耳鼻咽喉科 の設置あり、

實習 三年生は内外科各三ヶ月間、外來患者につき實習せしめ、四年生は一ヶ年間入院患者につき臨床講義を授く、  
 入學資格 年齢十六年以上にして中學校卒業生、若くは同等の學力あるもの、  
 學費 束修金三圓、授業料冬期金十三圓二十錢、夏期金六圓六十錢、耳鼻咽喉科金五圓、

(四十九) 東京藥學專門學校 (私立)

所在 神田區一ツ橋通り町二十番地、

目的 内務省藥劑師試験に應ずる者を修養するにあり、

修業年限 一年中とし、三學期に分つ、

學年 三月、九月の兩度、

學科 課目左の如し、

第一學期 物理學、植物學、(獨逸語學)、化學、化學實驗、  
 第二學期 化學、藥用植物學、生藥學、製藥化學、定性分析(實習)、調劑學、(獨逸語學)、  
 第三學期 製藥化學、生藥學、定性分析(實習)、藥品鑑定(實習)、藥物製煉(實習)、日本藥局法使用法、調劑學(實習)、(獨逸語學)、

入學資格 高等小學校卒業の者又は之と同等の學力ある者にして年齢十三年以上の者、

學費 入學金 金二圓、月謝 金二圓、

職員 校長思田重信氏、幹事、藤山忠雄氏なり、

(五十) 東京藥學校 (私立)

所在 下谷區上野櫻木町三十一番地、

目的 藥劑師を養成するにあり、

學科 正科、専修科あり、

修業年限 正科を二ヶ年とし之れを五學期に分つ、

課目 左の如し、



- 第一學期 普通學(和文、漢文、地理、歴史)、獨逸學、數學、動物學、植物學、物理學、無機化學、
  - 第二學期 普通學(和文、漢文、地理、歴史)、獨逸學、數學、動物學、植物學、物理學、有機化學、定性分析(講義)、
  - 第三學期 普通學(和文、漢文、地理、歴史)、獨逸學、生藥學、定性分析(實地演習)、定量分析(講義)、調劑學(講義)、衛生化學(講義)、
  - 第四學期 獨逸學、生藥學、調劑學(實地演習)、藥品鑑定(實地演習)、日本藥局方(講義)、衛生化學(實地演習)、定量分析(實地演習)、實地製煉、生藥學實習(顯微鏡用法)、
  - 第五學期 調劑學(實地演習)、藥品鑑定(實地演習)、日本藥局方(使用法)、衛生化學(實地演習)、定量分析(實地演習)、實地製煉、生藥學實習(顯微鏡用法)、
- 專修科課程 分析術、實地製煉、調劑術、生藥學實習(顯微鏡用法)、衛生化學(實地演習)、藥品鑑定(實地演習)
- 入學資格 年齢十六年以上の男子にして高等小學校卒業以上の學力を有するものにあらざれば入學を許さず、
- 學費 入學金 金二圓、授業料正科一ヶ年金二十七圓五十錢、專修科は一ヶ月金三圓
- 職員 校長下山順一郎氏、監督丹波敏三氏、

(五十一) 東京齒科醫學院 (私立)

所在 神田區三崎町二丁目九番地、

目的 米國齒科大學の制に倣ひ本邦齒科醫術の程度を參照して設立したるものにして、齒科醫たるに必要な學殖を與

へ、且つ之を實地に練習せしむるにあり、

學科 前期、後期に分つ、  
學年 四月六日に始まり翌年四月五日に終る、  
課目 左の如し、

- 前期 物理學、化學、解剖學、組織學、生理學、齒科解剖及組織學、病理學總論、藥物學、齒科材料學、
- 後期 口腔細菌學、齒科病理學、齒科藥物學、口腔外科學、齒科治療學、齒科矯正學、齒科技術學、齒冠鑲牙學、齒冠架工學、實地練習、

修業年限 一ヶ年、  
入學資格 中學校卒業生若くは之と同等以上の學力を有するもの、  
學費 入學金 金三圓、授業料一ヶ年 金二十五圓、  
選科 課程中の一乃至三科を選擇して學修せんとする者は選科生とす、  
授業料 一科各々金五十錢、  
院外生 院外生を募り、毎月一回講義録を配布す、月謝金一圓、  
職員 院長血脇守之助氏、幹事深澤可美良氏、

第八章 美術

吾國は美術の國なり、山紫に水明に、至る所として美の眞隨にあらざるはなし、而して東都の地、美術を學ぶに適する



や否やは一個の疑問なり、されば美とは只た山水の謂ひたのみにあらし、東都は學問の淵藪、以て東西美術の真諦を味ふに足らん、

### (五十二) 東京美術學校 (官立)

所在 春の花、芳はしく、秋の月、圓かなる上野公園内にあり、

目的 美術各科専門の技術家及普通圖畫の教員たるべき者を養成するにあり、

學科 繪畫科、圖案科、彫刻科、美術工藝科に分ち、美術工藝科を更に彫金、鍍金、鑄金、漆工に分つ、

修業年限 各科四ヶ年、豫備之課程一ヶ年、

學年 九月十一日に始まり、七月十日に終る、

入學資格 年齢十七年以上二十六年以下とし、品行善良身體強健にして入學試験に合格したるものとす、

但し公私立中學校卒業生は該校長の証明により無試験にて假入學を許し、豫備の課程以外に於て若干月間、毛筆畫及び木炭畫を練習せしめ、其の志望の科(繪畫、彫刻、圖案、彫金、鍍金、鑄金、漆工の内)を定めたる後ち、豫備の

課程甲種(又は乙種)の試験を施し、合格したる者は本入學を許す、

本校に於て適當と認めたる公私立技藝學校の卒業生及び生徒にして、該校長の品行善良、學術優等、身體強健なることを證明したる者は無試験にて相當の學級へ入學せしむることあるべし、

入學試験 課目は左の如し、

讀書 和漢文

作文 片假名交り記事論説文

數學 算術、代數、平面幾何、平面三角術、

地理 日本及外國地理大要、

歴史 日本及外國歴史大要、

理科 物理學、化學、博物學、

外國語 書取、歐文和譯、和文翻譯、

専門實技 流派及び材料を問はず

受験料 金二圓、

持待生 學業及び品行殊に優等なる生徒を選び持待生となし一學年間の授業料を免す、

研究科生 各科卒業の生徒にして猶ほ其實技を研究せんと欲し願出づる者は適當と認めらる者に限り研究生たることを許す、

在學期限 三ヶ年以内とす、

授業料 徴收せず、

選科 各科中特に一科目若くは數課目を選び學修する者のために選科を設く、

圖畫講習科 師範學校、公私立中學校、高等女學校、及實業學校の圖畫教員にして尙ほ其技術又は圖畫に關する學科を補修せんと欲する者のために圖畫補習科を設く、

在學期限 一ヶ年以上二ヶ年以内



學費、授業料は各科、選科、圖畫補習科凡て各々一ケ年金二十圓とし、九、十一、二、四月の初に分納せしむ、  
課目、各科の課目は左の如し、

●豫備之課程

甲種 (繪畫科、圖按科、漆工科志望者ニ課ス)

繪畫	每週二十八時
歷史	全五時
美術史	全二時
外國語	全二時
體操	全二時

乙種 (彫刻科、彫金科、鍍金科、鍍金料志望者ニ課ス)

彫塑	每週十八時
繪畫	全十時
歷史	全五時
美術史	全二時
外國語	全二時
體操	全二時

●繪畫科 (日本畫科、西洋畫科ノ内一科ヲ選ビ専修セシム)

第一年

實習

每週三十三時

歷史及考古學

全二時

美學及美術史

全二時

美術解剖(西洋畫科ニ限リ實習時間内ニ於テ之ヲ課ス)

全一時

遠近法(全上)

全一時

體操

全二時

第二年

實習

每週三十五時

歷史及考古學

全二時

美術解剖(西洋畫科ニ限リ實習時間内ニ於テ之ヲ課ス)

全一時

遠近法(全上)

全一時

體操

全二時

第三年

實習

每週三十八時

歷史及考古學

全一時

美術解剖(日本畫科ニ限リ實習時間内ニ於テ之ヲ課ス)

全一時



遠近法(全) 上

第四年

全一時

百四十六

實習及卒業製作

每週三十九時

用器畫法(教員志望者ニ限リ實習時間内ニ於テ之ヲ課ス)

全六時

教育學(全) 上

全二時

●圖按科

第三年

實習

每週十六時

繪畫

全十二時

歷史及考古學

全二時

美學及美術史

全二時

圖按法

全二時

建築裝飾史

全三時

體操

全二時

第二年

實習

每週十四時

繪畫

全十二時

歷史及考古學

全二時

建築裝飾術

全三時

物品製作大意

全三時

用器畫法

全三時

體操

全二時

第三年

實習

每週二十六時

繪畫

全十二時

歷史及考古學

全一時

第四年

實習及卒業製作

每週三十九時

用器畫法(教員志望者ニ限リ實習時間内ニ於テ之ヲ課ス)

全六時

教育學(全) 上

全二時

●彫刻科

第一年

鑿造 實材製作(木彫、牙彫、石彫、鍍金ノ中其一ヲ選ビ學修セシム)

每週二十四時

繪畫

全八時

百四十七



歷史及考古學  
美學及美術史  
美術解剖  
體操

第二年

全二時  
全二時  
全一時  
全二時

塑造  
實材製作

每週三十四時

歷史及考古學

全二時

美術解剖  
體操

全一時  
全二時

第三年

塑造  
實材製作

每週三十八時

歷史及考古學

全一時

第四年

塑造  
實材製作  
卒業製作

每週三十九時

●美術工藝科  
彫金科

第三年

實習

每週二十時

繪畫及圖按

全九時

歷史及考古學

全二時

美學及美術史

全二時

圖按法

全一時

美術解剖

全一時

金工史

全二時

體操

第二年

每週二十四時

實習

繪畫及圖按

全九時

歷史及考古學

全二時

應用化用

全二時

體操

第三年

每週二十八時

實習



繪畫及圖按

歷史及考古學

應用化學

第四年

實習及卒業製作

鑄金科

第一年

實習

繪畫及圖按

歷史及考古學

美學及美術史

圖按法

美術解剖

金工史

體操

第二年

實習

百五十

全九時

全一時

全一時

每週三十九時

每週二十時

全九時

全二時

全二時

全二時

全一時

全一時

全二時

每週二十四時

繪畫及圖按

歷史及考古學

應用化學

體操

第三年

實習

繪畫及圖按

歷史及考古學

應用化學

第四年

實習及卒業製作

鑄金科

第一年

實習

繪畫及圖按

歷史及考古學

美學及美術史

全九時

全二時

全二時

全二時

每週二十八時

全九時

全一時

全一時

每週三十九時

每週二十時

全九時

全二時

全二時

百五十一



圖按法  
美術解剖  
金工史  
體操

第二年

全二時  
全一時  
全一時  
全二時

實習

每週二十四時

繪畫及圖按

全九時

歷史及考古學

全二時

應用化學

全二時

體操

全二時

第三年

實習

每週二十八時

繪畫及圖按

全九時

歷史及考古學

全一時

應用化學

全一時

第四年

實習及衣業製作

每週三十九時

漆工科

第一年

實習

每週二十一時

繪畫及圖按

全九時

歷史及考古學

全二時

美學及美術史

全二時

圖按法

全二時

漆工史

全一時

體操

全二時

第二年

實習

每週二十四時

繪畫及圖按

全九時

歷史及考古學

全二時

應用化學

全二時

體操

全二時

第三年

實習

每週二十八時



繪画及圖按

歴史及考古學

應用化學

第四

實習及卒業製作

職員、校長正木直彦氏、教授には川端玉章氏、黒田清輝氏、高村光雲氏等あり、

### (五十二) 東京音楽學校 (官立)

所在、上野公園内松濤清き所にあり、

目的、汎く音楽を教授し、及攻究するにあり、

學科、學科を分ちて豫科、本科、研究科、師範科及び選科とす、

本科は聲樂部、器樂部、樂歌部に分ち

研究科は聲樂、器樂、作歌、作曲を専攻する者のために之を設く、

師範科は甲、乙二種に分ち、甲種師範科は師範學校、中學校、高等女學校の音楽教員を養成し、乙種師範科は小學校音楽教員を養成す、

選科は本校所定各科學部の一科目若くは數科目を修めんと欲する者のために之を設く、

修業年限、豫科一ヶ年、本科三ヶ年、研究科二ヶ年、甲種師範科三ヶ年、乙種師範科一ヶ年、選科は別に定めず、

百五十四

全九時

全一時

全一時

毎週三十九時

學年、九月十一日に始まり九月十日に終る、但し甲種師範科の學年は四月一日に始まり三月三十一日に終る、  
入學資格、左の如し、

豫科、男女を問はず年齢十四年以上にして左に掲ぐる入學試験に合格したる者、但し中學校第二學年を修了したる者は一乃至六、高等女學校第二學年を修了したる者は一乃至五の試験を要せず、

一、讀本 和漢文

二、作文 漢字交り記事文、

三、算術 四則、分數、小數、比例、

四、日本地理 大要、

五、日本歴史 大要、

六、英語 讀方譯解、

七、唱歌

八、體格

本科、豫科卒業の者、

研究科、本校卒業生中學藝優等にして尙ほ將來進歩の見込あるもの、

甲種師範科、師範學校、中學校、若くは高等女學校卒業生にして試問、唱歌、國語(又は英語)の試験に合格したるもの、

乙種師範科、高等小學校卒業生にして體格及唱歌の試験に合格したるもの、

百五十五



學費、授業料は漢科、本科一學年に付き各金十圓とし月割に納めしむ。漢科は一ヶ月金壹圓以上金五圓以下とす、研究料、師範科は授業料を要せず、  
 官費生、師範科生に限り一學年三十名を官費生とし、學費を支給す。  
 奨學資金、により生徒に學費を貸付す。  
 特待生、學藝優等、品行善良なる者を特待生とし授業料を免す。  
 音楽演奏會、時々公開す。  
 課程、各科の課程左の如し、

●豫科		學科	科目	時間數
倫	理			一
唱	歌			八
ピ	ア		第一學期 第二學期	三六
樂	典			一

寫	國語	英語	英	方	體操	課外	計	練
譜	語	語	語	操	漢文			習
第一、三學期								第一學期 第二、三學期
一	四	四	二					一〇八

\*印アル科目ハ女生徒ノミニ課ス

●本科		部名	時間數
學科目	學年	聲樂部	第一、二、三學期
		器樂部	第一、二、三學期
		樂歌部	第一、二、三學期

ピアノオルガン専門  
他樂器専門







●研究科

部名	聲樂時間數		器樂時間數		作歌時間數	作曲時間數
	學年		學年			
	第一	第二	第一	第二		
聲樂	第一	第二	第一	第二	第一	第二
	第二	第一	第二	第一		
器樂	第一	第二	第一	第二	第一	第二
	第二	第一	第二	第一		
獨唱歌	若クハ三					
諸重音唱歌練習	二					
ピアノ又ハオルガン			三		二	
ヴァイオリン又ハその他				一三		
唱歌指揮法	三					
作曲	一		二		一	四
聽音	三		三			三
管絃樂指揮法			二			二

計	合奏練習	作歌	西洋詩文	歌文
	練習二二三			
全上二三	二			
全上二三				
全上二三	二			
全上二三		四	二	四
全上二三				
全上二三	二			

研究科第二學年ニ於テハ聲樂、器樂、作歌、作曲ノ内一科目ヲ專攻セシム

●甲種師範科

學科目	第一學年時間數		第二學年時間數		第三學年時間數	
	第一	第二	第一	第二	第一	第二
倫理	一		一		一	
唱歌	八		八		八	
オルガン又ハピアノ	三		二		二	



●研究科

部名	聲樂時間數		器樂時間數		作歌時間數	作曲時間數
	學年		學年			
	第一	第二	第一	第二		
聲樂	獨唱歌	若クハ三				
	諸重音唱歌練習	二				
器樂	ピアノ又ハオルガン		三			
	ヴァイオリン グアイオラ 其他			一三		
唱歌指揮法		三				
作曲		一		二	一	四
聽音		三		三		三
管絃樂指揮法			二			二

研究科第二學年ニ於テハ聲樂、器樂、作歌、作曲ノ内一科目ヲ專攻セシム

●甲種師範科

學科目	學年		
	第一	第二	第三
倫理	一		一
唱歌	八		八
オルガン又ハピアノ	三		二
計	練習二二二	全上二二三	全上二二三
合奏練習		二	二
作歌			四
西洋詩文			二
歌文			四
計	練習二二二	全上二二三	全上二二三



樂理	二	一		
和聲學	二	二		
音樂史	一	二		
詩歌評釋	二			
教育學	二	二		
唱歌教授法	二	一	實地授業若干時	
○國語及漢文	四	五		五
○英語	四	五		五
調律練習			若干時	
体操遊戯及諸禮	二	二		二
計	二五 二二	二六 全上		二〇 全上

○印アル科目ハ生徒ヲシテ一科目ヲ選擇セシメ  
\*印アル科目ハ女生徒ノミニ課ス

學科	倫理	唱歌	オ ル ガ ン	樂理	唱歌 解釋	唱歌 教授法	体操遊戯及諸禮	計
科目	倫理	唱歌		樂理	樂典寫譜	第三學期		
時間								
數	一	一〇	三	二	三	一	三	一一 二三 練習

●乙種師範科

\*印アル科目ハ女生徒ノミニ課ス  
甲種師範科生徒ニハ「ヴァイオリン」又ハ「箏」ヲ課スコトアルベシ



職員 校長は大島義徳氏なり、

(五十四) 日本美術院 (私立)

所在 下谷區谷中初音町、

目的 本邦美術の特性に基づき、其の維持開發を圖るにあり、

第九章 軍人

(五十五) 陸軍大學校 (官立)

所在 赤坂區青山、

目的 陸軍各兵科の士官を選抜して、高等兵學を教授するにあり、

本校學生は各兵科の中少尉にして二年以上隊務に服し、身体強健、勤務精勵氣節ありて識量に富み、學術才幹卓越にして將來發達すべき判斷力を有する者より選拔す、

(五十六) 陸軍戸山學校 (官立)

所在 牛込區若松町、

目的 隊附の將校下士を分遣して其の學生とし、歩兵戰術、射撃、体操及劍術の原理を研究するにあり、

本校學生は歩兵士官、各兵科の下士より採る、

(五十七) 陸軍乘馬學校 (官立)

所在 陸軍戸山學校内にあり、

目的 騎兵隊の士官下士を分遣して學生とし、馬術及び馬學を教授するにあり、

(五十八) 陸軍砲兵工科學校 (官立)

所在 小石川區東京砲兵工廠内、

目的 砲兵諸工科専門の工術を教授し、火工下士、鞍工、銃工、木工、鋸工諸長に任用すべきものを養成するにあり、

(五十九) 陸軍經理學校 (官立)

所在 麹町區富士見町五丁目、

目的 陸軍々吏を養成するにあり、

(六十) 陸軍軍醫學校 (官立)

所在 陸軍經理學校内、

目的 陸軍々醫を養成するにあり、



(六十一) 陸軍士官學校 (官立)

百六十六

所在 牛込區市ヶ谷加賀町、

目的 初級士官たるに必要な教育を施すにあり、

(六十二) 陸軍中央幼年學校 (官立)

所在 陸軍士官學校と相並び市ヶ谷の壯觀を添ふ、

目的 軍人の豫備教育を與へ、陸軍各兵科の士官候補生たるべきものを養成するにあり、

教科 教授及訓育の二とす、

修業年限 二十一ヶ月、

學費 授業料を要せず、生徒を自費生、半官費生、官費生の三種に分つ、

入學資格 年齢十六年以上十八年以下にして入學試験に合格したるもの、

入學試験 左の如し、

讀書、作文、算術、代數、地理、幾何、理化、歴史、圖書、外國語、生理衛生、

(六十三) 海軍大學校 (官立)

所在 京橋區築地、

目的 海軍將校に高等の學術を教授し、他日樞要の軍職に充つべきものを養成するにあり、

(六十四) 成城學校 (私立)

所在 牛込區原町三丁目、

目的 主として陸軍武學生徒の豫備學科を教授するにあり、

學科 青年科、豫科に分ち、青年科を更に高等、尋常の二とす、

課目 左の如し、

倫理(人倫道德の要旨)、國文及漢文(漢字交り文及漢文、日本文法)、外國語(英語、佛語、獨語)、地理(總論、日本地理、萬國地理)、歴史(日本歴史、支那歴史、萬國歴史)、數學(算術、代數、幾何、平三角學、高等代數學、弧三角學)、理學(博物、動物、植物、物理、化學、生理學、化學實驗)、習字、圖書、体操(各個体操、柔軟体操、器械体操、中隊教練、銃檢術、教授演習)、

修業年限 尋常五ヶ年、高等一ヶ年、

入學資格 年齢十五年以上二十三年以下にして、陸軍出身の目的を有し、入學試験に合格したるもの、

學費 入學金 金一圓五十錢、月謝 金二圓七十錢、

寄宿舎 の設けあり、

附記 本校は陸軍豫備校中唯一の學校にして、士官候補生の合格者を出す常に多し、



(六十五) 海城學校 (私立)

所在 駒町區日比谷町、

目的 海軍兵學校、及び海軍機關學校へ入學志願の者を養成するにあり、

學科 課程略に成城學校と同しく、別に漕艇、水泳等あり、

修業年限 五ヶ年、

入學資格 成城學校に同じ、

學費 入學金 金一圓、月謝 金二圓、

(六十六) 百科學校徵兵豫備科 (私立)

所在 神田區錦町三丁目十番地、

目的 毎年十二月入營する徵兵當籤者に入隊後の補助となるべき軍事學、及び練兵を教授し、入營後他の士卒に卓越して最良の兵士となりしむるにあり、

學科 軍事學練兵、及普通學を教授す、

修業期限 二ヶ月、

學期 七月一日より十一月下旬迄、

學費 入學金一圓、授業料卒業迄金六圓、騎砲輜重兵科に馬費卒業迄金六圓、

寄宿舎 を設け屯營内に於ける諸規則を練習せしむ、舎費一圓、食費金五圓五十錢、

○但戰時中は修業期及學費左ノ如シ

一 修業期四十日間 一 入學料免除 一 授業料卒業迄金四圓也

一 食費四十日間八圓也 一 騎砲、輜重兵科ニ限り馬費卒業迄金六圓也 一 舎費卒業迄壹圓五十錢

第九章 語學

今までの世に語學の必要を説くは、云ふだけ野暮とかいふ者なるべし、政治、實業に將た學術に語學を知らずは、盲人杖を失ひしと同一ならん、

(六十七) 東京外國語學校 (官立)

所在 神田區錦町三丁目十三番地、

目的 外國語に熟達し實務に適すべき者を養成するにありて歐洲及東洋の近世語を教授するにあり、

學科 英語學科、佛語學科、獨語學科、露語學科、伊語學科、西語學科、清語學科、韓語學科の八科に分つ、

委託生 官廳、會社、學校等より其の目的を指定して委託されたるものなり、

研究生 本校卒業生にして更に研究せんと望むもの、

選科生 一語學科中の一課目又は數課目を選ひて専修せんとするもの、

別科 速成を旨とし各語學を教授す、

課程 各語學科の課程左の如し、

● 各語學科課



學科	正科語學			副科			國語	漢文	經濟學	國際法	教育學	言語學	體操
	英	佛	獨	英	佛	獨							
(英)(佛)(獨)語學科	一八	(四)	(四)	一八	(四)	(四)	二						三
第一年	一八	(四)	(四)	一八	(四)	(四)	(一)						三
第二年	一八	(四)	(四)	一八	(四)	(四)	(一)						三
第三年	一八	(四)	(四)	一八	(四)	(四)	(一)						三
(露)(伊)(西)語學科	一八	(四)	(四)	一八	(四)	(四)	(二)						三
第一年	一八	(四)	(四)	一八	(四)	(四)	(一)						三
第二年	一八	(四)	(四)	一八	(四)	(四)	(一)						三
第三年	一八	(四)	(四)	一八	(四)	(四)	(一)						三
(清)(韓)語學科	一八	(四)	(四)	一八	(四)	(四)	三						三
第一年	一八	(四)	(四)	一八	(四)	(四)	二						三
第二年	一八	(四)	(四)	一八	(四)	(四)	二						三
第三年	一八	(四)	(四)	一八	(四)	(四)	二						三

計	二七	二八	二八	二七	二八	二八	二八	二八	二九	二九
---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

( )印あるは隨意撰修するを得る學科なり  
 \*印あるは一學年限りものなれば次學年に續くるを得ず

修業年限 三ヶ年、研究科二ヶ年以内、別科二ヶ年、

學年 九月十一日より七月十日まで、

學期 一學年を三學期に分つ、

入學資格 中學校卒業生は無試験入學を許す、但し志願者の數豫定人員に超過したる時は競争試験を行ふ、其の試験科目は左の如し、

國語漢文、地理、歴史、外國語、

中學校卒業后三ヶ年を経過したる者は事宜により入學試験を行ふ、

學費 入學金一圓五十錢、授業料一學年金二十圓、研究科金五圓、別科は入學金一圓授業料一學年金十圓、

待生 第二級以上の生徒にして學術優等、品行方正なる者は待生として授業料を免除す、

貸費 保護貸費、獎學貸費の二種あり、

保護貸費 本科生にして特別の保護を要する學科を修め學力優等、品行方正にして學費支辨の途なき者には年額百圓

以内の學費を貸附す、

獎學貸費 本科生にして學力優等、品行方正にして學費支辨の途なき者には年額百圓以内の學費を貸附す、



職員 校長高橋順次郎氏にして、各國人各々教授の任に當る。

## (六十八) 國民英學會 (私立)

所在 神田區錦町三丁目十九番地、

目的 主として實用英語と英文學を教授するにあり、

學科 學科を分ちて正科、英文學科、夜學正科、會話專修科、英語商業科、受験科の六科とす、

正科并夜學正科は普通の英語を教ゆ、

英文學科は主として高等の英語并英文學を教授す、

會話專修科は専ら發音、會話、作文等實用的英語を教ゆ、

英語商業科は銀行、會社、商館に於て英語を要する事務を執る者又は高等商業學校に入學せんと欲する者又は商業學校の英語教員たりんと欲する者に必要なる學科を原書に由て教授す、

受験科は特別受験科、春季受験科、秋季受験科の三科に分ち特に諸官立學校入學試験を受けんと欲する者の爲めに英語の學力を養成せしむることを目的とす、

課程 各科の課程左の如し、

### ● 午前正科 課程

(一週授業時間十八時間)

### 第 三 級

發音教授	會話、書取	ニウ、ナシヨナル第一、二、三、四、五
綴字	習字	子スフ井ールド氏新英語讀本(本會購刻)
實物英語會話練習		子スフ井ールド氏英文典(本會購刻)

### 第 二 級 前 期

會話書取	和文英譯	Read's Word Lessons, イソツプ物語
ニウ、ナシヨナル	第四讀本	「フエーナルス、エンド、アチクド」(本會出版)
子スフ井ールド東洋英語讀本卷三		子スフ井ールド新文典(本會購刻)

### 第 二 級 後 期

會話書取	和文英譯	ガイドリツチ氏ナホレオン傳
英語聞、取會話	新文典	同氏 羅馬三傑史譯(本會出版)
子スフ井ールド	第五リード	ユニオン 第四讀本
ニウ、ナシヨナル		カリバー小人國漂流記

### 第 一 級 前 期

會話作文	和文英譯	英米五大傑作抄
神田氏著高等英文典(三省堂出版)		フランクリン
英米三大傑作抄		巖邊氏編
スウ井ント	萬國史	アービンク氏
子スフ井ールド	第三文典	英文和譯五千題
		スケツチアツク

### 第 一 級 後 期



會話作文 和文英譯  
 英語文パラフレーズ 英語聞取  
 ガクソン冠詞、シヤル、ウイル用法詳説  
 シーモール 大文法  
 マコーレー氏フレデリック大王傳拔萃(本會出版)  
 トムブラオンス、スクールデイス

ビュラー氏英文法實修書(本會翻刻)  
 ガクソンス 「クリスマス、キヤロル」  
 スウ井ントン 英國七大家詩文  
 子スフ井ールド 英作文書  
 ハマルトン氏 セ、インテレクチュアル、ライフ  
 同氏「ヒューマン、インターコース」

●英文學科 後前期

(一週授業時間十八時間)

會話作文 和文英譯  
 書讀認方 パラフレーズ  
 ガクソン 作文教授書  
 同 冠詞、シヤル、ウイル用法詳説  
 ベーリー氏 エロキエーション(本會翻刻)  
 ガクソンス 「クリスマス、キヤロル」  
 ハマルトン ヒューマン、インターコース  
 ホーソニー氏 ツワイス、トールド、テールス  
 マコーレー氏 パーコン論(本會出版)  
 マコーレー氏 ミルトン論(本會出版)  
 ブラツキー ヘルフ、カルチユア

スウ井ントン 英文學  
 ベイン 英作文修辭學(本會翻刻)  
 エマルソン 論  
 スコット 湖上美人集  
 子スフ井ールド 英作文書  
 カーライル 英雄崇拜論  
 同 ロバート、バルンス論  
 バイロン 「チヤイルド、ハロールド」  
 「シエークスピア」戯曲類  
 ライジング、サン、ライブラリー叢書

●會話專修學科課表

高等級

會話

書取

作文

朗讀

英語講義

譯解

書讀認方

英語演說

●英語商業科

(夜學一週拾八時間)

會話、作文 書取、習字

商業算術

商業通信文

經濟學

英語簿記

商業要項

タイプライター練習

●受験科

特に高等學校、高等商業學校、東京外國語學校、海軍兵學校、同機關學校、東京工業學校、東京商船學校、高等師範學校英語專修科等の入學試験に應ずる英語學力を養成せしめん爲めに特別、春季、秋季の三種に分ち受験科を設く

特別受験科 午前夜學共四月一日より六月三十日迄  
 春季受験科 午前 一月八日より二月二十八日迄  
 秋季受験科 午前 九月一日より十一月三十日迄

修業年限 左の如し、

正科年夜學正科 二ヶ年年、

英文學科并會話專修科 一ヶ年年、

英語商業科 一ヶ年年、

入學資格 入學は無試験にて入學を許し其の學力に従ひ等級を定む、英語學科并會話專修科は正科卒業生相當の學力あるもの、英語商業科は中學校卒業以上の學力あるもの、  
 學費 入會金 金一圓、各科の月謝は左の如し、

英文學科 金壹圓二十錢、

正科并夜學正科 金壹圓、



會話專修科 金六十錢、

英語商業科 金一圓十錢、

受驗料 金一圓、

夏期講習會 毎年七月一日より八月三十日迄夏期講習會を開く、

英語演習會 毎月第三金曜日の夜英語實修のため英米の有名なる學者紳士を招待し英語演習會を催す、

中外英字新聞 毎月二回發行す、

職員 主幹磯邊彌一郎氏にして、講師は内外人十余名皆有名なる人なり、

### (六十九) 正則英語學校 (私立)

所在 神田區錦町三丁目二番地、

目的 正則に英語を教授し、完全に英語を活用するの士を養成するにあり、

學科 午前部、午後部、夜學部に分ち更に左の各科に分つ、

午前部 豫科、普通科、普通受驗科、

午後部 高等受驗科、文學科、中學校英語科教員養成科、臨時受驗科、

夜學科 豫科、普通科、高等科、

修業年限 左の如し、

普通科 三ヶ年、

普通受驗科 一ヶ年

高等受驗科 一ヶ年

文學科 三ヶ年

臨時受科 三ヶ月

高等科 三ヶ年

入學資格 年齢十四年以上の男子に限る、

學費 東修 午前部、午後部各金一圓、夜學部金五十錢

授業料は左の如し、

文學科 毎月金一圓五十錢、

高等科 高等受驗科 毎月各金一圓二十錢、

普通科 普通受驗科 毎月各金一圓、

豫科 金七十五錢

圖書閱覽室 廣く英文學に関する書籍新聞雜誌を備ふ、

英文原週報 三十六年九月より發行せり、

課程 各科の課程は左の如し、

### ●午 前 部



學 科		豫 科 A
學 科		豫 科 B
讀 書	綴書會讀英組 語 書 字取話方學織	<p>English Language Primer, No. 1.</p> <p>譯解、組織英語學ノ書籍ニ依ル (外國人)</p> <p>Saito's Spelling and Pronunciation.</p> <p>National Readers, No. 1 &amp; 2.</p> <p>Saito's English Primers, No. 1 &amp; 2.</p>
讀 書	綴書會讀英組 語 取字話方學織	<p>English Language Primer, No. 2.</p> <p>譯解、組織英語學ノ書籍ニ依ル (外國人)</p>

學 科		普通 第一年
學 科		普通 第二年
讀 書	綴書會讀英組 語 書 法取話方學織	<p>Longman's Reader, No. 2.</p> <p>National Reader, No. 3.</p> <p>Golden Book.</p> <p>Aesop's Fables.</p>
讀 書	綴書會讀英組 語 書 法取話方學織	<p>Practical English Lessons, No. 1.</p> <p>譯解、組織英語學ノ書籍ニ依ル (外國人)</p> <p>齊藤氏、邦文英文法初步</p> <p>Longman's Reader, No. 4.</p> <p>National Reader, No. 4.</p> <p>Fifty Famous Stories.</p> <p>Hawthorne's Biographical Stories.</p>



讀 作文書會讀英組 語 書 文法取話方學織	Practical English Lessons, No. 2. 譯解、組織英語學ノ書籍ニ依ル (外國人) Saito's Text Book of English Composition, I. Longman's Reader, No. 4. Carpenter's Asia, No. I & 2. Select Stories from Readers, No. II. (My Cottage. Plutarch's Life of Alexander the Great. Moral Lessons, No. I. Selections from the Arabian Nights.
學 科	普通第三年 用 書
書會讀英組 語 取話方學織	Practical English Lessons, No. 3. 譯解、組織英語學ノ書籍ニ依ル (外國人)

讀 作文 書 文法	Saito's First Book of English Grammar. Saito's Text Book of English Composition, I. Union Fourth Reader. Life in Asia, No. I & 2. Tom Bailey's Adventures. Macaulay's Clive. Macaulay's Hastings. Johnson's Rasselas.
學 科	普通受驗科 用 書
讀 作文會書讀英組 語 書 文法話取方學織	Higher English Lessons, No. 1 & 2. 譯解、組織英語學ノ書籍ニ依ル (外國人) Free Conversation. Saito's Text Book of English Grammar. Saito's Text Book of English Composition, 2. Life of Nelson. Pushing to the Front. Selection from Franklin's Autobiography.







●夜學部

豫科 A

學科 用書

English Language Primer, No. 1

譯解、組織英語學ノ書籍ニ依ル (外國人)

讀綴書會讀英組  
語  
書字取話方學織

豫科 B

學科 用書

English Language Primer, No. 2.

英組  
語  
學織

普通第一年

學科 用書

Practical English Lessons, No. 1.

譯解、組織英語學ノ書籍ニ依ル (外國人)

齊藤氏、邦文英文法初歩

Longman's Reader, No. 3.

National Reader, No. 4.

Fifty Famous Stories.

Hawthorne's Biographical Stories.

Gay Cottage.

讀綴書會讀  
書取字話方

讀綴書會讀英組  
語  
書法取話方學織



普通 第二年		學 科	普通 第三年	英組 學 科
用 書		讀 書	用 書	學 科
Practical English Lessons, No. 2. 譯解、組織英語學ノ書籍ニ依リ 實藤氏、邦文英文法初歩 Saito's Text Book of English Composition, I. Longman's Reader, No. 4. Carpenter's Asia, No. 1 & 2. Moral Lessons, No. 1 & 2. Selections from the Arabian Nights. Select Stories from Readers, No. II.		讀 書 文法取話方學織 書	普通 第三年 用 書 Practical English Lessons, No. 3.	英組 學 科 學 科 用 書 Practical English Lessons, No. 3.

高等 科		學 科	高等 科	英組 學 科
用 書		讀 書	用 書	學 科
Higher English Lessons. Advanced English Lessons. Free Conversation. (外國人) No Book needed. Saito's Text Book of English Grammar. Saito's Text-Book of English Composition, 2. Macaulay's England before the Restoration. Readings in Modern Prose, No. I & 2.		讀 書 文法取話方學織 書	高等 科 用 書 Higher English Lessons. Advanced English Lessons. Free Conversation. (外國人) No Book needed. Saito's Text Book of English Grammar. Saito's Text-Book of English Composition, 2. Macaulay's England before the Restoration. Readings in Modern Prose, No. I & 2.	英組 學 科 學 科 用 書 Higher English Lessons. Advanced English Lessons. Free Conversation. (外國人) No Book needed. Saito's Text Book of English Grammar. Saito's Text-Book of English Composition, 2. Macaulay's England before the Restoration. Readings in Modern Prose, No. I & 2.



讀書

Tom Brown's School-Da s.  
Selections from Irving's Sketch Book.  
Chesterfeld's Letters.  
Captain Maryat Midshipman Easy. No. I & II.

授業時間 左の如し

午前部 午前八時より十二時まで、

午後部 午後一時より同五時まで、

夜學部 午後六時より同九時まで、

職員 校長齋藤秀三郎氏、講師内外人あり、

(七十) 歐文正鵠學館 (私立)

所在 京橋區明石町三十三番地、

目的 主として實用的英語を教授するにあり、

學科 本科、夜學科、夜學課科、別科、特別研究科の五つあり、

課目 左の如し、

正科 讀書、書取、譯讀、文典、簡易作文、會話、作文、書信、英語講義、

夜學科 綴字、習字、讀方、譯讀、書取、會話、文典、作文、書信、英語講義、

修業年限 本科二ヶ年、夜學科三ヶ年

入學資格 男女を問はず無試験にて入學を許す、

學費 東修 金三十錢、授業料本科一ヶ月金三圓、夜學科同金一圓五十錢、別料金二圓、

職員 館長サン・アマース夫人、内外國の教師あり、

(七十一) 中央英語學校 (私立)

所在 本郷區向ヶ岡彌生町三番地、

目的 實用英語及び高等英文學を教授するにあり、

學科 午前部、夜學部、高等科、特別高等科、會話專修科あり、

課程 左の如し、

● 午前部

● 午後部

第三級

學科

一週授業時間

用

書

ナショナル第一。ロングマンリーダー、一二三。

イリソフ物語。マリンノ萬國史。

單語説明組織的自由會話。

讀方 譯解 九

會話 二